



手を貸そう

国際ロータリー第2510地区  
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

# ガバナー月信

2003-2004 GOVERNOR'S

2004

1

MONTHLY LETTER No.7

2004. 1. 1

2003-2004年度ガバナー

GOVERNOR  
佐藤秀雄  
SATO HIDEO

〒066-0041 千歳市清水町4丁目8番地1 シェルヴィルビル2F  
電話 0123-42-2000 FAX 0123-42-2009  
E-mail: d2510g@poppy.ocn.ne.jp

Cielville Bldg.2F, Simizu-cho 4-8-1, Chitose, Hokkaido,  
066-0041 Japan  
Tel.81-123-42-2000 Fax. 81-123-42-2009  
E-mail: d2510g@poppy.ocn.ne.jp

## C O N T E N T S

ガバナーメッセージ・ガバナー日記 .....	1
ロータリー研究会報告/財団セミナー報告 .....	4
上期活動報告 .....	14
国際ロータリー理事会の決定事項の抄録 .....	27
年頭のご挨拶/RI会長ノミネー・理事ノミネーの発表 .....	29
青少年交換委員会報告 .....	30
ロータリー市民フォーラム .....	32
スリランカに中古自転車を贈る/十勝沖地震義援金報告 .....	34
ドンモアンRC訪問報告 .....	35
第1回米山記念奨学委員会報告 .....	37
地区補助金申請について/下期地区資金お振込みについて .....	38
ハイライトよねやま46 .....	39
文庫通信 .....	40
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー/米山功労者のご紹介 .....	41
掲示板/新入会員のご紹介 .....	42
11月会員数・出席率 .....	43
下期地区カレンダー .....	44

# ガバナーメッセージ



## 新春のご挨拶

ガバナー 佐藤 秀雄

クラブ会長・幹事様、そして会員の皆様明けましておめでとう御座います。昨年のは前半期はクラブ運営に意を注ぎ公式訪問、地区大会と多忙を極めた時期でありました。2004年、新しい年を迎えての後半期は前半期積み残した事業をじっくり腰を据えて計画し実行に移して、悔いのない1年間でありますよう思う存分やって頂きたいと思っています。会員増強についてもクラブ会長自ら熱き思いを持って事にあたれば、純増は不可能ではないでしょう。会長がリーダーシップを発揮しクラブ会員全員が一丸となって取り組まねば増強など程遠い話であります。今年は大阪国際大会も控えています。後半期も心を引き締めてロータリー活動に邁進しようではありませんか。あと半年頑張りましょう！

国際ロータリーは近年特に官僚的になって来ているように思えてなりません。「謝意の表明」しかり、財団の寄付しかり、物事全てにトップダウンが目立つようになってまいりました。会員自らが発案、発想した事例につきRIが承認し予算をつける。このような形で展開されてこそ会員はやる気を起こし活性化されていくのではないかと常日頃考えています。地区についても同じことが言えるかもしれません。一般地区資金が増大し特別地区資金が減少していま

す。本来逆にならなければ正常とはいえません。後半期も「ロータリーとは」を模索しながら運営をしてまいります。どうか会長・幹事様のご支援をお願いします。

### ロータリー地域財団セミナーへの参加

藤川ロータリー財団地域コーディネーター(RRFC)の司会で10時きっかりに会議が開始された。岡本RRFCから挨拶と来賓の紹介があり菅生RI理事、ジェームス・レイシーロータリー財団管理委員会委員長(TRF)の挨拶、その後千玄室ポリオ撲滅キャンペーン日本委員会委員長(PEFC)から「ポリオ撲滅キャンペーン」について話され、専門家によるとポリオウィルスを世界から完全に追放するのは大変困難な仕事である。しかし2005年度までにロータリーはこれを撲滅し追放しようと努力している。みんなで協力しようと要請された。蔵並定男恒久基金日本委員会委員長は「恒久基金委員会報告」を、ジョン・オスターランドTRF局長からは「財団の財政」について、宮崎茂和RRFCは「年次寄付」について話され午前の部は終了し昼食に入る。12:55から財団学友による音楽演奏会が開催され、はばたけ・エマさん、吉田裕美さん、南日美奈子さんの素晴らしい演奏と歌声に聞き入った。

13:35から午後の部が開始され岩井敏ロータリー・センター・ホスト・エリア・リエイゾンから「ロータリー平和センター」とロータリー日本財団理事長でもある同氏から「ロータリー日本財団」について話された。平和センターについて2003年4月10日NPO法人特定非営利法人として設立登記を完了し、寄付額の免税を当局に申し入れているが、いまだ結論には至っていない。続いて岡本RRFCから「ロータリー財団活動」について話があり、地区においてロータリーカード推進委員を任命して頂きたい旨の要請があった。現在まで入会した会員は約700名であるが、今回はゴールドカード（年会費が1万円）ではなく、年会費のかからない普通カードを作ったので多くの会員が利用して頂くようお願いしたい。売上総額の0.3%が財団の資金に還元されるのでぜひお願いしたい。片岡暎子日本事務局財団室長からは「新しいシェア・システム」について話があり、2003・11・27付けで又ロータリー財団地域セミナーハンドブックが発刊された。近々当ガバナー事務所からクラブ担当者に新刊が届くと思うのでよく読んで理解して頂きたい。

最後に質疑応答があり、最初に平和奨学生プログラムについて時限立法的に創設から5年という期限でプログラムが組まれているが、このような良い制度を永久に続けたいかどうか、との質疑に対し、レイシーロータリー財団管理委員長は私も継続を考えている。しかし2年という制度が良いのかは疑問だ。このプログラムは働いている若者を基本に考えているので、休職して2年間学ぶと言うのは、そうたやすいことではない。従って1年を目途に継続してはどうかを委員会で十分検討したい。

2番目の質疑は財団学友の行方不明者が多いが何とかならないか。との問いに対しては受講者の一人から、地区の財団学友委員長が熱意を持って事にあたれば解決出来る問題だ。私は9年間学友委員長として学生一人一人と握手を交わし常に対話してきた。その熱意こそが大切だ。玉村TRF管理委員は現代の学生は昔のように恩を与えたから、その恩に報いると言うような考えでは通用しない。奨学金をもらって留学できた、それはそこまでの話でその後ロータリーとよき関係を続けるならば学生たちのフォローをして行かなければ良き関係を継続すると言うのは無理な話だ。義務的に行動していたのでは学生はついて来ない。という厳しい意見を言われた。

3番目の質問は年次寄付と恒久基金を1本化したらどうか、について年次寄付は3年間据え置いて、その果実と共に財団のプログラムに全部費消されている寄付金であり、恒久基金は元金を積み立てし原則取り崩さずその果実のみを年次寄付金と合算し財団プログラムに使用されているものであるから1本化は出来ない。

4番目の質問は各地区で実施しているGSEプログラムは廃止すべきでないか、についてGSE事業は確かに地区の大きな予算を使って実施しているのは解るがそれなりの効果があるのではないか。例えばこの事業によって姉妹提携クラブが誕生したり、友好クラブの提携、友情交換まで行くかもしれない。或いは青少年交換事業に発展するかも知れない。それなりにロータリーのニーズがあることを勘案すると存続すべき事業と思う。経費がかかるとすればホームステイ等を多くし、節約することを考える事が大事ではないか。

## ガバナー日記(5)

9月13日(土)、14日(日)の両日札幌NTTセミナーセンターでライラセミナーが開催され「共生の時代に生きる」をテーマにジュニアクラスが集った。そこには交換留学生も参加し国際色豊かな輪が出来た。最初はぎこちなかったジュニア達も論議が進むに連れて緊張もほぐれ活発な論戦が展開され楽しい2日間だった。宮崎委員長、そして支援をされた会員の皆さん有難う御座いました。

### 公式訪問

**9月9日(火)** 深川、妹背牛両RC公式訪問のため千歳発14:26のホワイトアローで会場の深川プラザホテル板倉に大川地区幹事と共に向う。17時きっかりに渡部ガバナー補佐司会で会長・幹事懇談会に入る。妹背牛RCの江端会長は会員が10名以下になったのでクラブを解散しようかという話が出たが若い会員が2名増強されたので継続する事とした。クラブを建て直そう!のスローガンのもとに交通安全、親睦家族会、パークゴルフ大会等積極的に取り組んでいる。ロータリーの灯を消すことなく少人数でも活性化はできるはずである。知恵を絞って楽しいロータリー、地域社会に貢献して頂きたいと切に願っています。続いて深川RCの小野会長は長老がないので派閥がない。例会、各委員会はそれぞれ自由闊達な意見交換の場となり非常に良い状態にある。姉妹クラブの締結、イベントへの全員参加、クリスマス家族会等活発に活動している。非常に良い状態にクラブがあるので継続して欲しい。

**9月17日(水)** 第2グループ土山ガバナー補佐の砂川、滝川RCの公式訪問のため砂川パークホテルに高慶地区代表幹事補佐、中村地区幹事と共に向う。17時両クラブ合同の会長・幹事懇談会に入る。土山補佐挨拶の後、砂川RCの竹田会長から情報ネットワークを構築した。7月1日にはホームページも立ち上げ会計帳簿、出席確認表等

もパソコンで作成し公明正大に公開している。勿論パスワードで最低限のプライバシーの保護は図っている。時代にマッチした運用体制に心から賛辞を申しあげたい。米山、財団の寄付については封筒を作り、常時例会のテーブルに備え置き、好きなときに好きな金員を寄付する。素晴らしい発想で頭が下がる思いである。次に滝川RCの林会長は人口約4万6千人で、クラブ会員総数111名は他都市に比べ多い方ではないか。アドレス所持者は約3分の1、会員の増強は人口が減ってきているので厳しい。同好会が活発に活動している。世界大会は原則夫婦で参加を奨励している。ぜひ末永く110名をキープ願いたい。

**9月19日(金)** 赤平、芦別両クラブの公式訪問、場所は芦別北の京、木村代表幹事と共に13時事務所を出発。土山補佐同席のもと赤平RC石野幹事司会で17時から会長・幹事懇談会に入る。芦別RC坂田会長は人口20,300人で57名の会員である。ロータリーの森の特別委員会を作り毎年6月第3週を樹木の植栽日と定め実施している。芦別国際交流協会と協力し中学生を毎年カナダに10日間留学させている。野球部を作り坂田会長が監督となり活発に行動した結果若い会員が入会するようになった。情報委員会ではパソコン教室を開催し好評を得ている。スリランカへの中古自転車の収集にも力を注いでいる。有難う御座います。赤平RC布施会長は1960年に創立されたが10年以上の会員が70%を超えるため若い会員を増強したい。障害児童100~130名を参画させゲーム大会、クリスマスケーキ作りを指導、食事会等を実施している。園児を連れての老人養護施設訪問、よさこいソーラン、同好会事業等活発に活動している。(補佐からは金融関係が退会したので会員に封筒を渡し例会で受領している。)素晴らしい事業展開に敬意を表します。

# ロータリー研究会報告



## —職業奉仕よ、甦れ—

パスト・ガバナー

石垣博美 (札幌セントラルRC)

第32回ゾーン研究会に出席する機会を与えられ、多大の感銘を受けた。以下は、地区内のロータリアンの方々に是非ともお伝えしたいレポートの骨子である。

(1)今回の研究会は形式、内容ともこれまでにない改良がなされたとの印象が強い。田中・菅生両RI理事指導のもとに研究会のやり方に創意工夫がなされ、フロアからの発言がたくさん出るようになったことである。(1日目に6分科会のコーディネーターが30分のテーマ趣旨を説明、一晩おいて翌日、テーマごとに討論する。私は一晩中考え続けて睡眠不足となった)

(2)内容面でもセミナーの6分科会分割(職業奉仕、ビジョン、ポリオ、貧困飢餓識字率、家族、平和奨学生)はタイムリーなテーマ選択である。間然するところは少しもない。その上、印象的だったのは、ロータリーが100周年を迎える節目にあたり、21世紀のロータリーはいかにあるべきかという視点を強く意識した発言が多い事であった。特に私の出席した分科会は職業奉仕のテーマについてその感が強かった。

以上2点に更に付け加えれば、総じてどの分科会も活発な議論に溢れていたと思われ、菅生RI理事の主張するような大変刺激的な内容を持ち、海外発信に値するようのものであった。

(3)私の出席した第1分科会は「職業奉仕」であった。コーディネーターの道下俊一PG(第2500地区)は、人も知る北海道のA. シュバイツァー(あの黒人医療に一生を捧げた)と言われる人であったので、おのずから議論は沸いた。道下PGは最近

のロータリーではポリオ撲滅や平和奨学生のような巨大プロジェクトに進む反面、初期のロータリー運動の中から誕生してきた職業奉仕がなおざりにされていることを嘆く。かつて職業奉仕はロータリーの金看板であり、真髓だとも言われた。シェリダンの「He profits most・・・」(第2のスローガン)が人々の心に灯をともした(1917年)。次いでコリンズが「四つのテスト」で破綻した工場の再建に成功した。ロータリーの「奉仕の精神」は世界大恐慌という風雪のテストを生き延びたことになる。このあたりがロータリーにおける職業奉仕の原点ではないかと思われる。

しかるに近年はこの原点が見失われてきた。これでいいのかと道下PGは嘆く。私共は説得性の強いこの「職業奉仕の神様」の言葉に脱帽し且つ共感する。パネリストの加納泉氏、近藤雅臣氏を加え討論は白熱した。

(4)ゾーン研究会を終えて地区に帰り、私共の札幌セントラルRCの例会に出席。早速この研究会の模様を伝えた。たくさんの意見が出て私共のクラブでも今、職業奉仕に関する議論が沸騰している。田中宏会員はロータリーの根幹は職業奉仕にあり、自分の職業を「天職」にまで高め、自己研鑽を積むことがロータリアンに課された責務だと説いた。しかし他方では、そうした「天職論」は近代以前の医療や教職に見られたもので、いまや時代遅れではないかという説も出た。ポスト・モダン(脱工業化)の時代は職業の多様化をもたらしたのである。例えば、今のネット・ワーキングの世界では商品取引から金融、物づくりにおいてすらもネット

トワークの世界で成立してしまうのだ。ウェブに会社や行政のサービスを操作する作業が普通の職業として登録される。そうなる職業のコンセプトが一様でなく、多様化することは避けられない。更にまた面白い事に「天職説」の復活を予兆しロータリーこそはそういうエートを醸し出すのではないか、という意見も出た。

それは一言で言えば社会の変化であり、これを背景として一度死んだ天職観が再び甦るといふのだ。こういうことをもたらすであろう第1の変化は戦後流行した「福祉国家政策」であろう。どこの国も福祉を優先し、従来ロータリーが社会奉仕として実践してきた慈善プログラムは殆ど国営化されたと見てよい。その結果、ロータリーはプロジェクトづくりの大型化を目指したのである。第2に戦前のロータリーの理念は国際社会の「平和・協調」を戦後の国連の基本理念と著しく接近、アメリカの大統領にロータリアンが多かった事である。これもプロジェクトの巨大化を促した。更に第3は経済の「市場主義化」があげられよう。このため先進成熟社会では、サービス産業の比重が高まり、加えてNPOや無償のボランティア・サービスもまた両者を合するとGDPの10%を超える勢いである。こうした「サービス経済の社会」では今ものすごいスピードで「組織の衰退」が始まり、

人々は「脱階層化」社会への憧れを抱くようになってきたらしい。フリーターが全労働人口の20%に近づいてヨーロッパやロシアではデモが続発している。明らかに21世紀は人々が働く事を単なる生活手段としてではなく、自己実現のための手段としてエートスが芽生えているように見える。職業の真の紹説化が再び取り戻されるだろうと思う。

このような議論が札幌セントラルRCでは盛んに行われている。ロータリーが新しい時代への対応力を発揮すべき時代がやってきたのではないかと思う。

なお、2004年規定審議会のオリエンテーションが第1日目(28日)に開かれた。各地区から選ばれた代表議員34名が集合。第1回オリエンテーションの座長、田中毅氏および世話人の黒田正宏両氏から2時間にわたり、前回採択された決議案に関わる2004年規定審議会の状況について詳細にわたる話がなされた。

第2回は4月上旬、第3回は出発2週間前になされ6月中旬のシカゴにおける約1週間の審議会の後に行われる予定である。

付記：なお、道下PGはロータリークラブを「社交」にまで高めることの意義を説いた。卓見である。ロータリーを育てた地下水はイギリスだけでなくヨーロッパにも及ぶかのようだ。



## 第32回ロータリー・ゾーン研究会報告

パスト・ガバナー

伊藤 長 英 (苫小牧北RC)

1997年以来7回目の参加となったロータリー・ゾーン研究会も、関係者の努力によって年々内容が充実してきたのは大変喜ばしいことである。

ジョナサンB. マジリアベRI会長の挨拶は、「手を貸そう」の具体例を挙げられた。そしてロータリー家族委員会の必要性を力説され、世界における紛争の原因は貧困が大きな要素となっているので、貧困・飢餓に対して手を差し伸べることが大切である。非識字の人たちに「手を貸す」ことの必要性、特に女性に対する教育の重要性、女性の教育は母親になっ

てからの子供の教育に大きな影響を与えるからである。保健問題では、ポリオ撲滅が最大である。ロータリー財団への貢献に感謝の意を述べられた。ポール・ハリスは「戦争に至る道はよく舗装されているが、平和に至る道はいばらの道である」と言っている。ロータリーはポール・ハリスの夢を実現するべくロータリー・センターを開設した。昨年度から70名の世界平和奨学生が7つの大学で研究生活をスタートさせた。もう一つの重要な事業はポリオ撲滅キャンペーンである。ポリオの撲滅は100周年記念

の重要課題である。奉仕の基本は「手を貸す」ことであり、それは「人類は一つ」ということも意味している。一つの手が無数の手になっていくことが私の夢である。

ジェームス L. レイシーRI財団管理委員長は、私のガバナー年度のRI会長であり、大変親しみのある方である。「ロータリーの夢を追い続けよう」のテーマで、虹のマークのバッジをつけたが、今回もロータリー、ロータリー財団を空にかかる「虹」に例えて説明された。人の苦しみを癒し、貧しさを克服することが出来る「虹」である。

虹は七色である。緑は「心遣い」である。生物が大きくなるという意味の緑である。黄色は「愛」である。家族、地域社会、世界に対する愛がなければならぬ。橙色（オレンジ）は「分かち合う」ことである。四つ目の色こそ「奉仕」であり薄紫（バイオレット）である。他人の為に自分の資金、時間、能力を使って、自分自身の人生を豊かにすることが出来る。五つ目の色は、「手」であり濃紺（インディゴ）である。ポリオ・プラスは、手を貸すことにより、ポリオに罹ったであろう10億人の子供たちが救われている。六つ目の色は「赤」であり、情熱の色である。私たちは情熱的に行動しなければならない。最後の七つ目の色は、青（ブルー）であり、青空、海、静謐の色である。静けさを与える色が青であり、困難な局面に陥っている人たちに「夢」を与える。七色の意味することを常に銘記し、手を貸そうの精神のもと夢を追い続けよう。

財団のために貢献を頂いていることに感謝申し上げますと述べられた。

研究会の本会議は、2日間にわたって第1セッションから第7セッションまで行われた。私は、すべてのセッションに参加したが、第4セッションにおけるテーマ別のフォーラムにおいては、私は今年度、貧困緩和推進グループの第1ゾーン・コーディネーターの立場にある関係で、貧困問題の緩和をテーマとするフォーラムに参加した。モデレーター1名とパネリスト2名の発言の後、活発な意見の交換があり、有意義なフォーラムであった。大切なことは、

各地区または各クラブにおいて、貧困緩和を推進するプログラムをどのように実践するかということである。私の担当する地区およびクラブにおける実行力に期待したい。今年度の成果を4月末頃までにまとめてエリア・コーディネーターに報告する予定である。

尚、第1セッション（各種報告・その1）において、米山記念奨学会について、常務理事、事務局長である宮崎幸雄氏（東京RC）の発表があった。日本のロータリー独自の事業である米山奨学事業は、ロータリーの理想とする国際理解と相互理解に務め、国際親善と交流を深めるために優秀な留学生を支援し、国際平和の創造と維持に貢献することを目的としている。これまでに96カ国から11,542名の奨学生を支援してきた。規模と実績共に民間で最大の留学生奨学団体となっている。世話クラブとカウンセラー制度は、大学関係者や他の奨学団体から高く評価されており、大学推薦制度も定着してきており優秀な留学生を推薦されるので好評である。最近では毎年1,000名の奨学生を支援しているが、現在の寄付状況では赤字となる。特別積立金を取り崩している状況なので何とかご協力をお願いしたい。今年度から、米山功労者をもっと身近に感じていただくために10万円第1回米山功労者表彰を行うよう改訂したのでご協力をお願いしたい。米山記念奨学会においては、会員にアンケート調査を行ってご意見を伺い今後の運営に役立てたいと考えている。

米山奨学生の累計は1万名を超え、そのうち日本に在留する米山学友は、約3,000名。外交官として日本との架け橋になる者、経済界で中心的リーダーシップを果たす者、行政、教育、医療、福祉など各界で活躍する者と、多くの学友が活躍している。

本年10月11日(土)に第1回米山奨学会学友セミナーが東京で開催された。基調講演「平和と国際貢献における留学生の役割」とパネルディスカッション「留学生の知的貢献」などが行われ、現役奨学生、米山学友、ロータリアンの他にも、一般学生、社会人など定員を超える約150名が参加し、真剣に生きる留学生の声を社会にアピールした。



## ロータリー研究会・ロータリー財団地域セミナー報告

地区ロータリー財団委員会

委員長 森 本 正 夫 (札幌西北RC・PG)

今年もロータリー研究会に先立ち、ロータリー財団地域セミナーが11月27日に東京で開催されました。ロータリー研究会につきましては、佐藤ガバナーからご報告があるかと思いますが、パスト・ガバナーの一人として私の所感を少し述べたいと思います。「ロータリーはとかく寄付金集めと会員増強のことばかり取り上げる」と揶揄されることがありますが、この研究会のレクチャーは、高い倫理性と道德観に支えられた職業奉仕の考えからスタートしたロータリーの理念についての哲学的なものでした。先人のロータリアンたちが、どのような未来像を描いて社会に貢献すべく努力してこられたかを思い起こし身の引き締まる思いがいたしました。また、マリア・テレサ修道女が「経済的貧困より心の貧困の方が憂慮すべき問題ではないか」と日本人に警告を発した、というお話にも深く考えさせられるものがありました。

さて、27日に開かれた財団セミナーには総勢で220名の出席があり、財団のジェームス・レイシー管理委員長からもお話がありました。日本は財団に大きな貢献をしていることを高く評価はするものの、財団の活動を円滑に進めるためにも一人100ドルの寄付をお願いしたい、という主旨でした。また、恒久基金日本委員会委員長の蔵並定男氏からは、最近は大口寄付者が増えたこともあり、ロータリー日本財団の設立に関して前向きな動きがあるかもしれないという話がありました。

ロータリー財団のジョン・オスターランド局長からは、財団財政を総括して、寄付の種類とその用途

の内訳について説明がありました。昨年度は寄付のうち年次寄付が42%、ポリオは54%、恒久基金は4%となっており、教育的分野には26,900万ドル、人道的分野に28,400万ドル、ポリオに3,880万ドルが充当されました。ポリオへの支出が増え、人道的分野やマッチング・グラントへの運用が減っているという実情があるようです。

また、日本事務局財団室長の片岡瑛子氏からは、新しいシェア・システムや補助金申請について説明がありました。申請書の不備のために全申請の25%が却下されているということでした。

最後の質疑応答では、2560地区による「京都方式」について紹介がありました。財団運営の一助として、きめ細かな創意が工夫されているようで、たとえば例会ごとに250円から300円の寄付を募ったり、毎月1回年間で100ドル、半期ごとに50ドルで年間合計200ドルの寄付集めに努めているということでした。

長引く不況が各方面に影を落としてはいますが、発展途上国においては貧困により子供たちが教育の機会を奪われたり、十分な栄養を摂取できないことが原因で命を落とすという現状を考えると、私たちロータリアンとしてはこのような子供たちに真っ先に手をさし伸べなければならないという使命を感じるものです。セミナーの昼食会では、音楽専攻の元財団奨学生による演奏会が開かれましたが、途上国の若者たちにもこのような機会が与えられ、将来を担う人材として育てていくことに微力ながら協力したいという思いを新たにいたしました。





## ロータリークラブのための新モデルの試験的プロジェクトの報告

パスト・ガバナー

遠藤 正之 (札幌南RC)

国際ロータリーは新世紀に入り、諸々の問題に直面しており、更に発展を続ける為には大略4つの問題がある。

すなわち、

1. 将来のロータリークラブとロータリーアンはどのようなものでなければならないのか。
2. 地域社会に有意義な存在であるためにはクラブはどう対応したらよいのか。
3. 新クラブは拡大され会員を増しているが、既存クラブは会員を減らしている。どう対処すればよいのか。
4. 若い専門職、事業に携わる人に魅力を失いつつあるのではないのか。

以上のことからロータリーを強化するために、「新モデルの試験的プロジェクト」を開発し、2001年の規定審議会にて国際ロータリーの定款第5条第5節の改正により新モデルの施行が行われ、世界の19の国、190クラブ、我国では下記の3つのクラブが参加している。

### 1. 参加の理由

参加クラブ名	足利東RC(D2550・栃木)	春日部RC(D2770・埼玉)	東京高輪RC(D2750・東京)
創 立	40 年 以 上	40 年 以 上	10 年 未 満
参 加 理 由	1. 若い会員が入会しても3年未満に退会していく。理由は「ロータリーは自分に合わない」ロータリー、ロータリークラブが若い人達の生き方に対応できなくなってきたのか。どう改めれば良いのか。 2. 40年も経つとRIと地区の新しいプログラムに柔軟に対応する能力を失っている。どう改善するか。 3. クラブ運営、例会の運営、出席、奉仕活動についての硬直したクラブの雰囲気が若い会員にとってロータリーとロータリークラブに対して魅力を失ったのか。どう改善するか。 4. 会員と家族がロータリークラブの奉仕活動に参加しなくなっている。家族を魅力的に引き付けるには、クラブ例会が画一的でこれが原因か。 5. ロータリーのイメージが地域社会で古くなった。ロータリーの哲学が失われつつある。どう対応するか。 6. クラブの奉仕活動が総花的であるので魅力がなくなった。 7. 若い会員が我慢することが少なくない。これに対してクラブはどう対応するか。 8. 無関心な会員に対してクラブ会合、奉仕活動、地区、RIのプログラムにどうしたら積極的に参加させられるか。		会員が11名まで減少。解散か合併を考えた。

このプロジェクトの経過については、「試験的プロジェクト」日本代表である川尻政輝パスト・ガバナーが、第30回ロータリーゾーン研究会で報告し、又ロータリーの友2002年8月号に詳しく報告されている。今回の報告は、その後の経過と新しいクラブの試行について述べられた。

この「ロータリークラブのための新モデルの試験的プロジェクト」には、今4つの問題点があります。

### 問題点：

1. 日本における取り組みは、どのようになっているのか。
2. 2年5ヶ月の結果、3地区の3つのクラブはどのように変革したか。
3. アメリカで認証されているサイバークラブ、e-クラブ・ワンは今どのようになっているか。
4. これからの新モデルの試験的プロジェクトはどうなるのか。

当日は時間の関係で2、4について報告された。以上を表にまとめました。

## 2. この試験的プロジェクトに参加して2年数ヶ月でいかに変革したか。

参加クラブ名	足利東RC(D2550・栃木)	春日部RC(D2770・埼玉)	東京高輪RC(D2750・東京)
会員増強・ 退会防止に成功	21名 退会者少ない	6名 少ない	23名(現在34名会員) 少ない
経済的負担の 軽減	入会金の軽減(入会金5万円) (年会費15万円)	入会金の廃止 年会費の減額	例会を隔週(例会費の減額) 入会金廃止 年会費の減額
入退会の動向	・若い人の入会がある ・長年在籍会員の退会減少 ・再入会者がみられる		若い人の入会がある
奉仕活動	・奉仕活動に参加する会員が多くなった。 ・クラブ運営費が少なくなり、この余裕を財団プログラム奉仕活動に参加し寄付が出来るようになった。		
例会の頻度の 変更	出席義務を50%に下げる。 このため2週間に1回出席すれば良い。 ホームクラブの出席が多くなった。	月末の例会を廃止一月3回 (経済不況のため経営者の出席を考慮して) ホームクラブ出席率80%を維持している。	例会を2週に1回にし例会を19:00からにした結果、若い経営者の出席が伸びホームクラブ90%の出席率となり、家族が参加して例会が楽しくなった。
例会の時間	最終例会を夜間とし2時間の家族例会も企画。 社会との交流の場を考え、色々なゲストを呼ぶ。		例会時間を2時間に延長
その他	近隣クラブとの交流合同会議、共同プロジェクトを多く開催している。 若い会員がグループ別の新会員の教育研修セミナー、財団セミナーに積極的に参加している。		

## 3. これからの新モデルの試験的なプロジェクトはどうか。

RI理事会は2003年5月に2004年規定審議会にこのプロジェクトを2007年まで延長できるようにする立法案を決議しました。代議員の協力をお願いします。

又RI理事会は事務総長に対し、参加度合を振り返り、又2007年まで延長された場合、各国代表に継続できるかを確かめることを要請しています。

最後に川尻日本代表は、日本国内ではこのプロ

ジェクトを当初十分に理解していなかったために3クラブに過ぎなかったが、今後2007年6月末までに延長された場合、3年の期限で国内から3～5クラブの参加があることを希望しておられました。そうすることによって、日本国内でも一層の客観的な新モデルクラブが出来るのではと結んでおりました。

なお、このプロジェクトの詳細、サイバークラブの事については、近く発行のロータリーの友に掲載される予定です。



## 第32回ロータリー・ゾーン研究会に参加して

パスト・ガバナー

岩城 秀晴 (札幌南RC)

私は、11月29日(土)の開会式から始まった型どおりの進行内容については、ガバナーより御報告があると思うので、その点については省略して、第3セッションの職業奉仕関係についてのみ記したい。

先ず、第3セッションにおける職業奉仕について、第2500地区の道下俊一PG(浜中RC)が述べられた。氏は、職業奉仕はロータリーの基本として考えていくべきであり、ロータリーの力は何であるか。その職業を奉仕することが、他の奉仕団体に無いロータリーの奉仕の原点と考えたい。氏は、御存知のとおり、釧路市近郊の浜中クラブ会員であり、最近のNHKのドキュメントとして取り上げられ、氏の職業を通して奉仕する姿が放映されたのですが、氏は自己の職業により社会奉仕することが社会の信頼を受けることになり大事である。昨今、職業奉仕は難しいと考えられているようであるが、それは難しいことではないと思う。と氏は述べられた。

翌日は、分科討論会の職業奉仕についてのセッションがあり、これには道下PGをモデレーターとし、パネリスト2名の方々が職業奉仕について述べられた。その中に、1905年にロータリーは創立されたが、ロータリーは、職業奉仕の理念を中心とした精神的にも大事な職業による奉仕することが望ましいのではないだろうか。87年には職業宣言を發表し、ロータリーの哲学的な歩みを進めることが大事なことである。

職業奉仕は古典的ではあるが、今、私どもの社会においても、モラルハザードが乱れている弱肉強食

の時代となっている。職業の倫理の乱れによる虚偽が新聞を賑わせている現状は、約98年前の1905年において、ポール・ハリスがロータリーを創立した当時の社会に似ているものと思われる。企業の倫理観の欠如、正当の価値がどう判断すべきかが問われる時代であろう。そして、個々の会員の意識革命によって、ロータリーの職業奉仕観が出来れば会員も増加するし、退会もないと思う。と加納氏は述べられた。

一方、近藤氏は、ロータリーの誇りは、職業倫理観、リーダーシップの問題、プロ意識の問題、教育の問題をロータリアン同志が切磋琢磨することが必要である。ロータリアンはもっとロータリーの教育を受けて職業の奉仕をすることが必要と述べられた。また、職業奉仕に対する権威者である佐藤千寿氏は、自己の職業を大事にして、住み良い希望の持てる職場づくりが職業奉仕と考えたい。昨今の銀行はどうか、不動産融資のみに融資をして、公共性、収益性、安全性を忘れているから経営破たんを生じることになる。従って、自利他利のバランスを考えて調和させることが必要となる。身近には「四つのテスト」を重視して、自己の職業に満足感を抱くことが職業奉仕である、と述べられた。

以上に述べたように、今ロータリーには奉仕活動がたくさんあるが、その中であっても、職業奉仕の重要性を再認識して100周年を迎え、そして、希望のあるロータリーとし、101年を進めて行きたいものであると感じた。



## 全国会員増強委員長会議 ロータリー研究会分科会報告

パスト・ガバナー

小林 博 (札幌北RC)

### 会員増強 一全国会員増強委員長会議

世界の会員数は現在122万人ということであるから、会員数は漸増の傾向にある。

ただ、会員数はアジア諸国、特に日本、韓国、台湾、オーストラリアでは減少の傾向がある。特に日本では毎年5,000人近く減っているとのことである。アメリカでも会員数の減少は見られるが、年間3,000人というから母数の大きさ（世界の全会員のうちアメリカ32%、日本9%）で比較すると日本の減少がいかに際立っているかが明らかである。

なぜ日本で会員減少が際立ってきたか、その原因はいろいろある。全国会員増強委員長会議ではその根本的な原因についての論議がなく、会員増強をどうしたらいいかという論議に集中したのは些か物足りなかったというより残念なことであった。

経済的な不況は会員減少の一因ではあったとしても、むしろロータリーに対する魅力の欠如、もっと極端に言えばロータリーに対する不満とか一種の不信感があるからではないかと危惧する。その原因は単一のものではないが、その一つに昨今ロータリーの友11月号に掲載されたRI会長に対する謝意の表明の問題がある。このことについても全体会議の第7セッションで侃侃諤諤の意見がなされたが、RI理事の説明では謝意の表明は当然である、金額もおおよそ妥当でないかということであった。

地区の会員増強委員長として私が危惧することは、RIの規定審議会で決まったことであり、また理事会で決まったことであるからそのとおりにしなければいけないというだけであれば、ロータリーに対する不満は払拭できないのではないかと。謝意の表明は当然としても、金額の算出については次年度以降、冷静な再度の検討が必要ではないかと思ったのは私だけではなかったようである。

### 「ロータリー家族」提唱の意図

#### 一それは退会防止にある？

2003-2004年度RI会長ジョナサン・B・マジリアベさんが特に強調しているのは各クラブに「家族委員会」を作って欲しい、また12月はロータリー家族

月間にして欲しいということであった。

ロータリアンはみんな一つの家族であり、故人となったロータリアンの家族までも含めてロータリー関係者の家族を大事にしようとの考えである。さらに新世代委員会に属する青少年交換、インターアクト、ローターアクトまでを含めロータリーに関係する全ての人がみんな一つの家族であって、その連帯感や結束を大切にしようというのである。ここには退会防止と会員増強に対する隠れた一つの狙いがある。既に家族委員会を設け、それなりの活動をされているクラブもある。

一方、我が2510地区には昨年からはまった「家庭奉仕委員会」があり、これと「ロータリー家族」が混合されがちである。「家庭奉仕」は自分の家庭に対する奉仕がロータリーの原点で、ロータリーは家庭から (Rotary begins at home) という考え方である。各人の家庭をいかに大切にするか、平和な家庭があつて初めて理想的なロータリー活動が出来ようというものである。ここにはロータリアンとしての人的資質向上の狙いがある。従って「家庭奉仕」の狙いはさきの「ロータリー家族」とは違う。

「ロータリー家族」に関する討論は分科討論会の第5テーマとして行われた。ただ残念ながら十分突っ込んだ議論にならなかった、というより議論が噛み合わないチグハグな意見交換に終わってしまった。それは提唱された「ロータリー家族」の意図が不徹底であつただけでなく、家庭奉仕と混同したむきもあつたからである。

家族と家庭、これは英語で言えばfamilyとhomeである。ところが家庭委員会も英語にするときはfamily committeeとなるから両者の厳密な区分は難しいことも確かである。だが、「家庭奉仕」と「ロータリー家族」の個々の意図することの違いをはっきりさせておかないと議論はいつまでも噛み合わないことになる。

当面は「家庭を大事にしよう（家庭奉仕）」の活動を大切にしながら、「ロータリー家族」も大事にして退会防止を考えようと、仲良く2本建ていきたいものである。



## 第2回ガバナー・エレクト研修セミナーのご報告

ガバナー・エレクト

遠藤 秀雄 (登別RC)

これに先立ち第1回目のガバナー・エレクト研修セミナー (GETS) が9月14日 (日)、東京で開催されました。田中作次RI理事から2004～2005年度がRI 100周年と理事会で決定との報告があり、南園義一RI理事エレクトの紹介がありました。

研修内容は、ロータリー財団に関する事項が主で、岡本徳彌、宮崎茂和両ロータリー財団地域コーディネーターからその組織、活動内容について説明があり、上野孝次期研修リーダーからガバナーの役割、地区の研修会についてのセミナーがありました。

今回は、11月28日 (金) 8:30～15:30、新高輪プリンスホテルで開催されましたが、冒頭菅生浩三RI理事のご挨拶の中で「ロータリーの長い歴史の中で時代が変わると活動プログラムも変化する。原点を忘れがちになってはいないだろうか。ロータリアンの原点は職業を通して他人に尽くす。そのことで自分も幸せになれることではないか。地区やクラブの運営に際してその視点が大切である」と述べられ、全く同感で印象に残りました。

黒田正宏研修リーダーの「ロータリーの会員基盤維持と拡大」について

2002～2003年度RIでは305クラブ増えたが、会員数は15,886人 (1.28%) 減ってしまった。アジア、アメリカ、南米、オーストラリアで減少しています。日本では4,947人 (4.45%) の減少で、国別では一番多くなっています。その原因としては不況による仕事の厳しさ、会員の高齢化、会員の親睦の欠如、

例会の魅力の低下、奉仕活動に興味を感じない等でした。そして、新入会員のオリエンテーションの重要性を訴えられていました。

藤川享胤研修リーダーの「効果的な指導者の開発」について

ガバナーとしての役割として①ロータリアンにやる気を起こさせる。②献身的なロータリアンの数を保持し増やしてゆく。③ロータリーが会員にとって重要な組織と認識してもらう。④方向づけと指針を提供する。⑤模範を示す。をあげられ、地区の研修会が極めて肝要と述べられました。

上野孝研修リーダーの「国際ロータリーの管理運営要件」について

事務局の組織と使命について説明され、またロータリーの情報源として、①人的 (事務局) ②活字 (出版物) ③電子メディア (RIウェブサイト、RJW等) ④視聴覚 (ビデオ) があり、活用して欲しいと述べられました。

最後に昨年の国際協議会の様子が紹介され、予備知識が得られました。これまで2回のロータリー財団とGETS、1回の米山奨学会とゾーン研修セミナーに参加し、これはまさにガバナーになるための意識改革であり、ロータリー学を叩き込まれたと実感しました。研修費用も会員諸兄の浄財であり、無駄にすることなく頑張りたいと心を新たに致しました。



## ロータリー財団地域セミナー報告

地区補助金委員会

委員長 伏木 忠了 (札幌西RC)

日時：2003年11月27日(木) 10:00~16:20  
 場所：東京高輪プリンスホテル  
 出席者：佐藤秀雄ガバナー・遠藤秀雄ガバナー・エレクト・塚原房樹ガバナー・ノミニー  
 森本正夫地区財団委員長・伏木忠了地区補助金委員長・(竹山涼一元RI理事)

### 開会、主催者挨拶に続いて、菅生浩三RI理事の来賓挨拶

RIは人頭分担金で運営されている。財団は、プログラムの資金を寄付で確保、3年間の利息で運営、年次寄付・恒久基金等の寄付収入とプログラムの支出との収支バランスが取れている。又プログラムを通じて、プログラムに実際に参加することによりロータリアンの資質を高める。

### ジェームス・レイシーTRF管理委員長の挨拶

目標設定は大事であり、日本は財団への貢献は大きく、ロータリーは世界への約束であるポリオの撲滅を果たさなければならない。日本は、ロータリーの世界のリーダーですので一層の努力をお願いし、毎年1人あたり100ドルの寄付で全てのプログラムが活動できます。

### 「ポリオ撲滅基金キャンペーン」 千玄室PEFC

ポリオキャンペーンの最新データでは、837万ドル集まったが、約束の1,600万ドルの半分であり、「約束を守ろう」をスローガンに、バルセロナ、ブリスベンの国際大会で決意した旨、全会員に伝達して頂きたい。

### 「恒久基金委員会報告」

蔵並定男恒久基金日本委員会委員長

日本は139万6千ドル、世界の20%に当たる。  
 最近大口寄付者が増えておりますが、なお一層のご協力をお願いしたい。

### 「ロータリー財団活動について」 岡本徳彌RRFC

8月に財団地域セミナーを開催。

明日からゾーン研究会、財団セミナー開催、RI会長も来日。

クレジットカードの1万人目標に、担当者を決め推薦願いたい。

来年の大阪大会には、財団セミナーを計画

### 「新しいシェア・システムや補助金について」

片岡暎子日本事務局財団室長

- ・国際親善奨学生：2万5千ドルが上限。
- ・人道的プログラム：最新報告書の出ていないクラブは、提出期限2004年6月30日、これを過ぎるとペナルティが生じる。
- ・マッチング・グラント：申請の25%が返還される。古いプロジェクト申請で再申請手続きをしないものはキャンセルになる。
- ・ポリオプラス、ポリオプラスパートナーの説明：1月から各国のポリオプラスパートナーの要求がHPに開示、50%の補助金がつく。
- ・2006~07年度からDDFシェアは50%になる。

### 質疑応答（京都方式の説明、2560地区財団セミナー）

- \*地区補助金には会員の積極的参加を求める。
- \*例会毎に250円から300円の寄付を募る。
- \*毎月1回年間で100ドル、半期ごとに50ドルを会費からで、年合計200ドル寄付

# 上期活動報告

## 第1グループ

- 6月17日(火) 深川RC訪問  
(被選クラブ協議会に出席)
- 6月23日(月) 羽幌RC訪問  
(被選クラブ協議会に出席)
- 7月4日(金) 小平RC例会訪問
- 7月29日(火) 深川RC訪問(夜間例会)  
9月9日の深川RC・妹背牛RCの合同ガバナー公式訪問のお願いと地区への協力と深川RCの今後の活躍のお願いの挨拶
- 8月1日(金) 佐藤秀雄ガバナーより後進国に中古自転車を送るための第1グループ5クラブに50~60台の中古自転車収集依頼があり第1グループ全体で30台の中古自転車を収集して地区に送る。
- 8月2日(土) 滝川RCにて第1・2・3グループ合同「ロータリーの社会活動に関する意見交換」「社会奉仕・家庭奉仕・子ども奉仕活動に関する意見交換会」に出席
- 8月4日(月) 佐藤ガバナーより環境保全記念フォーラム原稿の依頼があり各クラブにエントリーの要請をいたしました。エントリーなしでした。
- 8月21日(水) 羽幌RC訪問  
会員御婦人合同親睦夜間例会に出席し会員また御婦人皆様全員がロータリー活動に積極的に参加していたと感じました。
- 9月3日(水) 留萌・羽幌・小平RC3クラブ佐藤ガ

ガバナー補佐 渡部英次(留萌RC)

- バナー公式訪問  
17:00より佐藤ガバナー・大川地区幹事を迎え会長・会長エレクト・幹事懇談会を行い終了後懇親会の開催
- 9月9日(火) 深川RC・妹背牛RC2クラブ佐藤ガバナー公式訪問  
17:00より佐藤ガバナー・大川地区幹事を迎え会長・会長エレクト・幹事懇談会を行い終了後懇親会の実施
- 10月18日(土) 対木正文地区社会奉仕委員長より「平成15年十勝沖地震」義捐金の要請があり5クラブに1人当り1,000円寄付をお願いし、義捐金の指定口座へ振り込み依頼する。
- 11月28日(金) 小平RC例会訪問
- 12月3日(水) 妹背牛RC訪問。夜間例会に出席。平成16年5月16日(日)第1グループ合同ワークショップ開催のご案内と前期の協力のお礼など。
- 12月13日(土) 羽幌RCクリスマス家族会に出席予定

### 平成16年5月16日(日)第1グループ合同例会開催概要 実行委員会の開設

実行委員長：清水 隆(会長エレクト)

副実行委員長：河部 勲

名称：ワークショップ

議題：情報集会で各班より提出して頂き決定

会費：5,000円

以上簡単ですが報告といたします。

## 第2グループ

ガバナー補佐 土山久男 (芦別RC)

### (1)クラブ訪問

第2グループ、4クラブ(赤平RC、芦別RC、砂川RC、滝川RC)の訪問はそれぞれ7月の第1回目クラブ協議会に出席しました。2つのクラブは通常例会にクラブ協議会を実施し、事業内容の説明を受けた後、若干のコメントを述べました。2つのクラブは通常例会前の1時間をクラブ協議会とし、その後例会にてガバナー補佐としての卓話を求められました。

#### ①赤平RC 7月15日 於文流センターみらい

通常例会にてクラブ協議会を実施して、それに参加。つい数年前まで、50名弱の会員数も35名に減少。しかし会員同志の連携は良さそうで、特にニコニコ委員会の例会を楽しくしようとする意気込みが感じられた。

総評では、補佐として地区とクラブのパイプ役、連絡係に邁進することを強調した。特に中古自転車の件、財団の100\$、ポリオ50\$、地区大会、大阪国際大会参加要請等。

#### ②芦別RC 7月18日 於芦別商工会議所

通常例会にてクラブ協議会。47年の歴史をもつクラブで従来の手法をそのまま踏襲するのではなく、坂田会長は随所で〈改革〉を実現しそれに対し古い会員からなんら異論が出ないのも好感が持てる。

#### ③滝川IRC 7月31日 於ホテルスエヒロ

通常例会前の1時間をクラブ協議会とし一般会員も出席し、その中で古い会員が「若い連中だけで事が進み我々の発言の場が無い」の意見には考えさせられるものがある。

少し休憩の後、通常例会に入り他のプログラムと共にガバナー補佐の卓話を求められた。会員数100名を超えるクラブであり、財団、米山、共に過去の実績には目をみはるものが有る。

#### ④砂川IRC 8月6日 於砂川パークホテル

通常例会前のクラブ協議会で今年度の事業内容の説明を受けた。地区の方針をいち早く活動計画書に盛り込み(ex.IT。子供奉仕委員。中古自転車。オンツー大阪。等)計画書そのものがロータリーの資料としても活用出来る様になっているのは素晴らしい。

その後の例会では他のプログラムが無く、補佐の卓話のみで35分間は新米補佐としても辛いものがあったが、なんとかすり抜けた。

### (2)合同例会(赤平RC、芦別RC)

ガバナー公式訪問とは別に、毎年実施している例会に出席。プログラムの1つとして、ガバナー補佐卓話。

### (3)会長・幹事会の開催

千歳市で実施されたガバナー補佐会議(2月8日)の後を受け、

2月27日 第1回会長・幹事会【芦別RC】

6月2日 第2回会長・幹事会【滝川RC】

11月19日 第3回会長・幹事会【砂川RC】

協議内容

IMに変わる4クラブ合同会議について

国際大会参加要請について

財団、米山についての現況

### (4)ガバナー補佐提示板の発行

これは4クラブの会長・幹事宛のFAX文書で3月13日に第1号を発行し現在迄9号を発行済です。

### (5)第2グループ合同例会について

従来のIMに変わる会議としてのもので日程は、平成16年5月9日(日)午後6時の懇親会の前に4クラブの〈意見交換会〉〈親睦レクリエーション〉を予定。基本的な考え方として、経済的な負担を軽減し友情、親睦の輪を広げ、次年度に向けてのステップにしたい。



## 第3グループ

ガバナー補佐 西原宗幸 (岩見沢東RC)

- 4月：会長・幹事会 (岩見沢RC)  
 11月：会長・幹事会 (岩見沢RC)  
 7月：8クラブ訪問 (当別RC・栗沢RC・美唄RC・  
 岩見沢RC・岩見沢東RC・江別RC・江別西  
 RC・栗山RC)  
 8月：クラブ協議会 (岩見沢東RC・岩見沢RC)  
 (江別RC・江別西RC・当別RC) (美唄RC)  
 (栗沢RC・栗山RC)  
 9月～10月：ガバナー公式訪問  
 (岩見沢東RC・岩見沢RC・美唄RC)  
 (江別西RC・江別RC・当別RC)  
 (栗沢RC・栗山RC)

### クラブ報告

**美唄RC**：美唄RC創立30周年記念事業として、石川啄木の碑をJR美唄駅東側に建立。又、会員増強にクラブ一丸となって頑張っており40周年に向けその意気に喜ばしい限りです。

**江別RC**：会員増強と退会防止に会長さんを筆頭に変意欲的な運動を展開されており、その結果2名の新会員を迎えられました。

交換留学生を8月にフィンランドへ送り出し、4カ月経過し3回マンスリーレポートが届いており会員一同温かく見守っております。

**江別西RC**：情報ネットワークを最大限利用しクラブ運営を図り幅広い活動をしております。上期の行事として、江別市元野幌地区に隣接している四つの医療福祉施設との「合同友愛夏祭り」に参加し、入所者とその家族と一緒に祭りを盛り上げ、特に会員の金魚掬い・ヨーヨー釣りの出店を手伝い、売上金は4施設へ寄贈されました。

その他、大麻地区にある、あけぼの幼稚園の「あけぼの友愛バザー」に参加し、その益金は、あけぼの幼稚園に寄贈等、地域に密着した奉仕活動をしております。

**岩見沢RC**：7月に公的イベントとして、「環境保全チャリティービールパーティー」を開催し多くの市民の参加を頂き、その浄財の中から岩見沢市の「ふるさとづくり推進基金」に寄贈致しました。

8月には、地区野球大会を主管する立場で前夜祭を開催し出場クラブの懇親会を設け、その会場でいち早く台風10号に対する義援金を参加者全員から頂き、浄財142,000円を静内RCにお預けし被害の大きかった新冠町に届けて頂きました。

11月、岩見沢ローターアクトの創立35周年には提唱RCとして会員登録し盛大に開催されました。

また、米山記念奨学会の寄付・ロータリー財団の寄付等も上期の目標を順調に推移しております。

**岩見沢東RC**：地区要請の1つであるスリランカへの中古自転車を贈る件で、8月の盆前に50台を地区担当委員会の方に引渡しをしており、更に100台を手配して贈る予定でしたが地区予算の関係で贈ることができず会員一同落胆しております。

財団への年次寄付は順調に推移し、目標達成確実となっております。

第3グループの行事として、11月8日(土)に計画されておりました8クラブ合同親睦研修旅行(親睦委員会・家庭奉仕委員会・子供奉仕委員会)が参加者人数が少なくやむを得ず中止になり東クラブ単独で移動例会とし、会員家族の理解を頂き48名の参加を頂き小樽運河散策研修を行い家族の方々から大変好評を頂きました。

**栗沢RC**：昭和39年創立で今年度40周年、小さな町の大きなクラブです。8月に第3グループ親睦ゴルフ大会をホストし55名の参加を頂き大変盛会で友情の輪を一層深めることが出来ました。

会員増強と退会防止を重点目標とし、「街づくりはロータリークラブから」を合言葉に奉仕活動を続けております。

ガバナー公式訪問時に記念植樹を毎年続けており、

今年度佐藤ガバナーに植樹をして頂き厚くお礼申しあげると共に、この植樹が立派にロータリーと共に成長されることを祈念しております。

**栗山RC**：8月に第4回栗山RC旗争奪中学校野球大会を開催、空知管内、札幌・北広島から12チームの参加を頂き盛会に終了することが出来ました。クラブとして次代を担う青少年の健全育成の一環としてお手伝いできればと会員一同頑張っております。また、7月11日栗山公園球場にて16人分のユニフォームを贈呈し、その後選手全員と当クラブ会員で例会場まで道路脇のゴミ拾いをして全員カレーライスの昼食をとり交流を深めました。

9月には、会員・家族親睦旅行を開催、JR栗山

駅発着の貸切列車で仁木町にてぶどう狩りをいたしました。参加人数は、赤ちゃんから80歳までの70名の参加があり楽しい旅行でした。

**当別RC**：退会防止と会員増強を重点目標に会員一同努力しております。

9月には、姉妹都市クラブの岩手県岩出山RCを訪問し政宗公まつりに参加し交流を深めてまいりました。また、移動例会として、北海道医療大学へ行き薬学部先生より薬草の卓話を頂き、会員一同勉強して参りました。

当クラブのホームページ・メールアドレスを取得し、今後大いに活用してクラブ運営を共にしたいと思っております。

## 第4グループ

ガバナー補佐 **戸部アナマリア** (札幌はまなすRC)

会は札幌はまなすRCの北川敏夫直前会長の司会で始まり、戸部ガバナー補佐の開会の挨拶の後に、各議題についての発表と意見交換が活発に行われました。

先ず2003年7月より9月迄の各クラブの活動状況について発表がありました。当初に発表の持ち時間は5分を限度とすることをお願いしましたが、各クラブの活発な発表や予定になかった質疑応答が多く行われ、時間の経過を忘れてしまう程の熱心なものであり、出席者一同の親睦と理解がより深まる一刻であり、勉強になるものでした。

次にIMにかわる行事の議題に入り、各クラブに何かアイデアがあるか否かについて話し合いましたが特に案はありませんでしたので、ガバナー補佐から地区社会奉仕委員会主催の「ロータリー市民フォーラム」が11月29日に札幌市で開催されるに当たり、このフォーラムが第4・5グループのIMにかわる行事になるか否か、又資金やその他の協力の要請がある旨の経過説明があり、これについて討論しました。

出席者の多くが指摘した事は、このような活動計画があるならば、又第4グループに何らかの協力を要請するならば、地区委員会より各クラブに対し情

報を提供すべきではないかということでした。

又、地区委員会の活動には予算措置が伴うものであり、その用途が不明確である点も指摘され、その内容の説明を求める意見が多かったです。

そして、この件について10月24日午前10時45分(地区大会前)に再度会を開催し、地区社会奉仕委員長、対木正文氏に参加していただき、これまでの経緯、予算等について直接説明してもらい、このフォーラムについての第4グループとして、又クラブとしてどのような範囲まで協力出来るかを定める事としました。

結果は協力するクラブもあれば、協力できないというクラブもあるということで閉会となりました。以上報告と致します。





【10月18日 出席者】

(出席者名簿・敬称略)

	会 長	幹 事		会 長	幹 事
札 幌			札 幌 西 北	大 野 義 雄	小川真治(代理)
札 幌 西	村 上 登	宮 越 陽 一	札幌モーニング	池 上 公 介	中 田 繁 一
札 幌 手 稲	山 本 雅 章	潟 沼 良 三	札幌あけぼの	染 谷 重 雄	西 山 秀 夫
札 幌 北	城 木 浩 一	小 林 俊 之	札幌はまなす	大 石 春 雄	

【10月24日 出席者】

(出席者名簿・敬称略)

	会 長	幹 事		会 長	幹 事
札 幌		庭 山 早 苗	札 幌 西 北	大 野 義 雄	中 嶋 良 三
札 幌 西	村 上 登		札幌モーニング		中 田 繁 一
札 幌 手 稲	山 本 雅 章	潟 沼 良 三	札幌あけぼの	染 谷 重 雄	西 山 秀 夫
札 幌 北			札幌はまなす	大 石 春 雄	

## 第5グループ

ガバナー補佐 玉 井 清 (札幌清田RC)

当初は何かと混乱しました。手続要覧を見ては溜息ものでありましたが、地区チーム研修セミナーから始まり、各種会合に出席しているうちに4月、5月頃になってやっと仕事の全体像が見えてきて、どうか落ち着きを取り戻すことが出来ました。

札幌東RCを皮切りに第5グループ内8クラブのアッセンブリーに出席させて戴き、クラブの基本方針、活動計画が全て出揃いました。単年度事業、継続事業と多種に渡っておりますが、いずれの事業も価値のある事業であり、概ね地域に根ざした事業を計画されております。

また、いずれのクラブも会員増強に並々ならぬ努力をされており、具体的にマニュアルを作成し、1ヶ月に2名の新入会員を迎えるといった大変情熱のこもったクラブもありました。

特にグループ内では周年行事を迎えるクラブが3クラブあり、それぞれ実行委員会をつくり計画中でありました。

7月に入り新年度がスタートし、8月21日より9月1日にかけて、ガバナー公式訪問を受けました。当グループでは前年同様に3クラブ、4クラブそして単独と3日間に分けて行いました。各クラブ共に例年同様大変好評でありました。11月29日、札幌東RC創立45周年記念事業の市民講座『育てよう子供の心』が開催されました。子供と若いお母さんはじめ市民の参加で札幌グランドホテルの会場が満員の盛会でありました。

尚当日、地区社会奉仕委員会主催の市民フォーラム『児童虐待—タイからの報告と日本の対応』が開催されました。家庭奉仕委員会、子ども奉仕委員会

が新設された折から非常にタイムリーであり、市民の方々数百名の参加があり有意義でありました。

尚この事業日程について、クラブ周年行事の日程とバッティングしてしまいましたことについて、私の配慮不足であり関係者の皆様に深くお詫び申し上げます。

各クラブ共総じてクラブの活性化に努力され、特に会員増強に力を入れているのを実感しております。当グループでは、11月現在5クラブで15名の増員、1クラブで2名の減少であります。

## 第6グループ

### 1. 上期活動について

#### ・ガバナー公式訪問

7月22日小樽RC・小樽南RC・小樽銭函RCの3クラブ合同例会を小樽グランドホテルにおいて、翌23日岩内RC・倶知安RC・余市RC・蘭越RCの4クラブ合同例会を岩内高原ホテルにおいて開催した。

#### ・スリランカへの中古自転車寄贈事業

各クラブ共積極的に取り組み、7クラブで274台の自転車を収集、中でも100台近くを確保した倶知安クラブの活動が目ざましかった。

#### ・ポリオ撲滅のための財団寄付

グループ内で色々協議を重ねた結果、各クラブ共会員一人当たり50ドルを今年度内に納付することで合意を見た。

#### ・第6グループ交換留学生補助資金

今年度は第6グループとして交換留学生を受け入れる計画はないが、毎年積み立ててきた現在高約250万円の資金の運用規定を明文化するための作業を今年度中に行うことを会長・幹事会で申し合わせた。

#### ・会長・幹事会の開催

- 第1回 4月19日 千歳全日空ホテル
- 第2回 6月7日 岩内あづま館
- 第3回 8月30日 小樽まちの寿司
- 第4回 11月22日 倶知安ホテル第一会館

#### ・ガバナー補佐各クラブ訪問

本年度から各クラブ輪番で隔月毎に合同幹事会を開催しております。尚、必要に応じて会長・幹事合同で行うこととし、互いの情報を交換するように致しました。

上半期を省みて私自身大変多くの方々と出会い、自己研鑽の機会を戴き心から感謝しています。後期も各クラブの会長・幹事様はじめ会員皆様のご協力とご支援を戴きながら役目を果たしてまいりたいと存じます。

ガバナー補佐 梅庭昭寛 (岩内RC)

上期におけるグループ内7クラブへの訪問は、合同例会を含めて、各クラブ2～3回実施した。

#### ・次年度ガバナー補佐の推薦

第6グループの次年度ガバナー補佐として倶知安クラブの原實会員を推薦する旨の推薦状を11月8日遠藤ガバナーエレクトに送付した。

### 2. 上期におけるグループ内クラブの主だった活動

- ・小樽RC：10月18日にクラブ創立70周年を挙行し、記念事業として、小樽市に広葉樹100本を寄贈し、併せて向こう3年間の管理費を寄付した。
- ・小樽南RC：継続事業であるブックスタート活動への支援を今年度も実施した。他に支援活動として、ラジオ体操広場、小樽潮祭りへの支援を行った。
- ・小樽銭函RC：中国人女子留学生（小樽商大2年生）に対する奨学金を昨年より継続している。小樽銭函ロータリー杯少年野球大会を実施している。
- ・余市RC：余市全国サマージャンプ大会を後援。地区ライラセミナーに参加。余市ロータリークラブ杯学童水泳大会を実施。
- ・岩内RC：9月の新世代月間には傘下の岩内ローターアクトクラブの活性化を目標に8名の新入会員を獲得、新たな飛躍を目指している。
- ・倶知安RC：老人ホームでの草刈、清掃、町内の公園のクリーンアップ等、ボランティア活動に邁進。地域の共感を得て、今期6名の新入会員を迎

え入れた。

- ・蘭越RC：町内の河川クリーン作戦に協力し、環境保全をクラブのテーマに掲げる。地域の祭り、イベントにも積極的に参加した。

### 3. IMに変わるグループ内合同研修会の実施予定

毎年2月にロータリー創立記念合同例会を開催している小樽RC、小樽南RC、小樽銭函RCの3RC合同例会が今年度は平成16年2月20日(金)に特別講師を招いて小樽南RCのホストで催される

## 第7グループ

### 1. スケジュール

会長・幹事会	3回
クラブ訪問	1回
クラブ協議会訪問	1回
ガバナー公式訪問例会	2回

### 2. 所感

ロータリーの前半期は少し忙しすぎるのではないかと思います。クラブ協議会訪問、公式訪問、地区大会と矢継ぎ早にいろいろな行事があり、やっと半期が終わった気分です。

#### ・クラブ協議会

各クラブとも例年どおり会員増強には苦しんでおりますが北広島RC、長沼RCは会員一丸となって会員増強に励み成果を上げておりますが、その他のクラブも下半期に向けて頑張ってくださいと思っています。また、各クラブの活動内容は、

が、今年度はこれに余市RC、岩内RC、倶知安RC、蘭越RCの4クラブも参加して、IMに代わる第6グループの研修会とすることに決定を見た。

### 4. 上期会員数の動向

グループ内7クラブの会員の増減は、倶知安RC6名、銭函RC2名、小樽RC、岩内RC各1名の増員があった。退会は各クラブとも逝去者を除いて無く、近年の退会傾向に歯止めがかかったといえる。

ガバナー補佐 後藤篤人 (由仁RC)

それぞれ特色がありそれぞれの地域のニーズに合わせた活動のテーマをもっており、大変勉強になりました。

#### ・青少年交換留学生

昨年度よりの引き継ぎで、運営上の問題や財政上の問題をクラブ協議会、会長・幹事会と検討して参りましたが、各クラブ内に温度差があり、グループ全体の問題とするのは困難であると思われました。今後はクラブ間での協議を期待しております。

#### ・下半期にむけて

クラブ協議会や会長・幹事会にも話をさせていただきましたが、会員増強を課題として取り組んで頂きたいと思っております。

また、今年度はIMを中止しますが6クラブ合同親睦例会を実施して、グループ内の和を高めていきたいと思っております。

## 第8グループ

### 活動内容並びに行事

- 2月8日：ガバナー補佐会議 (千歳全日空ホテル)
- 2月16日：第8グループIM (様似町)
- 3月4日：地区研修セミナー (千歳全日空ホテル)
- 3月15日～16日：
  - 会長エレクト研修セミナー (千歳全日空ホテル)
  - (第8グループ会長懇談会同会場)
- 4月12日：第8グループ会長・幹事 (現・次期) 懇談会 (様似町アポイ山荘)

ガバナー補佐 細川好弘 (静内RC)

※引継ぎ並びに新年度のグループ運営について協議される。

4月19日～20日：地区協議会

(千歳全日空ホテル・千歳市民文化センター)

※グループ内会長・幹事連絡会を行う (運営方針について)

4月25日：ラタクルRI会長歓迎パーティ

札幌市 (2500・2510地区、800名)

6月15日～16日：地区役員 (新・旧地区役員) 引継

- ぎ会議 (札幌市)
- 6月21日：インターアクト年次大会  
(札幌市北海道青少年会館)
- 6月23日：クラブ訪問 (三石RC・浦河RC・えりもRC・様似RC・静内RC)
- 7月1日：第8グループ年間カレンダー発行  
※ロータリー国際行事・地区行事予定に第8グループの行事予定等を一覧表にして作成配布。
- 7月19日：第8グループ会長・幹事会 (静内町天政)  
※静内RC内に会長を含む5名の編成によるガバナー補佐委員会の設置 (委員長：山田一孝)  
公式訪問・合同例会等ガバナー補佐の任務遂行に協力。  
※2003～04年度地区第8グループ運営方針等確認される。(ホスト静内RC)  
※第8グループとしての奉仕活動費等に活用できる共有財源として特別会計を創設。  
(ロータリアン年1,000円拠出) ガバナー補佐担当クラブ会計の持ち廻りとして会長・幹事会議で運用管理する。
- 8月5日：ガバナー補佐だより発行  
※地区並びに第8グループ運営に係る情報を編集してグループ内全ロータリアンに配布。
- 8月9日：地区社会奉仕委員会意見交換会 (苫小牧市、第7・8・9・12グループ合同)  
※3地区委員長より活動計画と各クラブへの要望説明後意見交換を行う。第8グループより10名出席。  
※台風10号被害報告 (ガバナー事務所と協議)
- 8月13日：大阪平野RC杉本氏来静 (平野井事務所)
- 8月19日：クラブ訪問 (様似RC19日、三石RC25日、浦河RC26日、えりもRC28日)
- 8月29日～30日：地区野球大会及び前夜祭  
(岩見沢市)
- 9月20日：中古自転車積込 (静内→千歳市)
- 9月26日：十勝沖地震発生(各クラブ会長・ガバナー事務所との被害状況連絡)
- 9月30日：中古自転車・足踏みオルガン積込  
(静内→千歳市)  
※中古自転車87台、中古足踏みオルガン32台を整備してスリランカへ贈るプログラムに参加。
- 10月11日：ガバナー公式訪問・合同例会  
(静内町ウエリントンホテル)  
PM13:00～会長・幹事会、PM15:00公式訪問—合同例会  
・ゲスト卓話：岩城秀晴PG (地区オン・ツー・大阪委員長、100周年記念委員長)  
・ガバナー講演、PM16:00懇親会  
(静内町ウエリントンホテル)  
※IMプログラムも組込んで122名のロータリアンがロータリーを語り交流を深めた。
- 10月13日：2004～05年度ガバナー補佐推薦  
蘇田又栄氏 (浦河RC)
- 10月23日～25日：地区年次大会 (千歳市：23日ゴルフ、24日・25日本大会)  
※登録：えりもRC15名、三石RC10名、様似RC10名、浦河RC25名、静内RC36名  
記念フォーラム資料報告：浦河RC、静内RC  
ガバナー特別表彰：大山会員 (浦河RC)
- 11月15日：財団学友会総会 (札幌市スピカ内2F)
- 11月23日～24日：北海道ロータリー交流会  
(札幌市コンベンションセンター)
- 11月29日：地区社会奉仕プログラム  
(札幌市道新ホール)
- 12月6日：ガバナー補佐会議 (千歳全日空ホテル)  
平成15年十勝沖地震災害に対する義捐金支援協力  
※年次大会にて決議された案件であり、第8グループ地域が被害を受けておりますがロータリーの奉仕活動として義捐金支援に協力。  
国際大会 (大阪大会) 登録PR広報  
※12月15日迄に登録されるようPR  
国際ロータリー100周年参加PR広報  
※参加趣旨文を各クラブ会長・幹事へPR  
2004～05年度第8グループガバナー補佐の推薦  
蘇田又栄氏 (浦河RCを推薦)

## 後期の予定

- ★夜間例会へメイクアップのお誘い  
(おじゃましま～すプログラム)
- ※グループ内5クラブの夜間例会に5クラブ会長・幹事と共にメイクアップをし情報交換・交流を深めるプログラム。ガバナー、地区幹事の参加を予定。日程は下記の通りです。

- ◎静内RC：2003年12月17日(水)PM6：30～
  - ◎三石RC：2004年1月19日(月)PM6：30～
  - ◎様似RC：2004年2月10日(火)PM6：30～
  - ◎浦河RC：2004年2月17日(火)PM6：30～
  - ◎えりもRC：2004年3月26日(金)PM6：30～
- 目的：地区情報交換並びに親睦を深める。  
義務出席者：ガバナー、地区幹事、各クラブ会長・

幹事  
会場・メイクアップ料については各クラブよりご案内いたします。  
各会場にて第8グループ連絡会議をPM6時より行います。

★現・次期会長幹事合同会議  
2004年4月10日(土)浦河町(ホスト：浦河RC)



ガバナー公式訪問・合同例会の様子(10月11日)

## 第9グループ

地区リーダーシッププランに基づくガバナー補佐の任務を遂行するため、佐藤秀雄ガバナーの提案されている「ロータリアンの意識改革を」を実践すべく、今年度は特に「例会の充実」を主テーマとし、各クラブ間での問題意識の共有化をはかるため、従来のグループ会長・幹事会を拡大し、グループ協議会形式で活動を進めていくこととした。

6月3日(火) 第1回第9グループ会長・幹事会(ホストクラブ：登別RC、会場：ホテル平安)

### 議題

1. 佐藤秀雄ガバナーの地区目標についての確認
2. ガバナー公式訪問についての具体的打ち合わせ
3. 新年度に向けてガバナー補佐の役割についての

ガバナー補佐 宮 武 忠 史 (登別RC)

説明及び活動方針の発表。特に、新年度は地区としてIMを休止する為、第9グループの対応について意見交換を行いました。

### 4. クラブ訪問についての打ち合わせ

洞爺湖RC 2名、伊達RC 2名、室蘭RC 2名、室蘭RC東 2名、室蘭北RC 2名、登別RC 4名、計14名出席

6月17日(火) 第9グループ新旧会長・幹事会

(2002—2003年度齋藤ガバナー補佐主催で実施)

6月26日(木) 室蘭RC例会訪問

7月1日(火) 室蘭北RC例会訪問

7月2日(水) 室蘭東RC例会訪問

7月9日(水) 佐藤秀雄ガバナー公式訪問(室蘭RC、

室蘭東RC、室蘭北RC、登別RC合同)

7月10日(休) 佐藤秀雄ガバナー公式訪問(伊達RC、洞爺湖RC合同)

8月22日(金) 第2回第9グループ会長・幹事会及びグループ協議会

(ホスト:室蘭RC、会場:室蘭プリンスホテル)  
会長・幹事会は各報告及び連絡事項

今回のグループ協議会はグループ内各クラブの

①プログラム委員長(リーダー:室蘭RC会長)

②親睦活動委員長(リーダー:室蘭東RC会長)

に出席していただき、この2グループに各クラブ

の会長・幹事がそれぞれ分かれて参加していただき

ました。各グループ共それぞれのクラブの現状

報告から始まり、たいへんに活発な意見交換や情報

交換の場となりました。グループ討議終了後、

全体会議でそれぞれ担当の幹事から報告していただき、

補佐の総評後懇親会の場へ移動しました。

洞爺湖RC4名、伊達RC4名、室蘭RC4名、室

蘭東RC4名、室蘭北RC4名、登別RC6名 計

26名出席

10月7日(火) 伊達RC例会訪問

10月10日(金) 洞爺湖RC例会訪問

10月17日(金) 第3回第9グループ会長・幹事会及びグループ協議会

(ホスト:伊達RC、会場:伊達ロイヤルホテル)  
会長・幹事会は各報告及び連絡事項

今回のグループ協議会は各クラブから①国際奉仕

委員長(リーダー:伊達RC会長)②社会奉仕委

員長(リーダー:洞爺湖RC会長)③職業奉仕委

員長(リーダー:室蘭北RC会長)に参加して

いただき、この3グループに各クラブの会長・幹事

に分かれて参加していただきました。①のグルー

プには黒田地区米山奨学委員も出席され米山月間

ということもあり、みなさんの質問にも丁寧に答

えられていました。②社会奉仕活動は各クラブと

もそれぞれ個性の違いがあり、今後の参考にと真

剣な話し合いが行われました。③10月は職業奉仕

月間ということもあり、各クラブ会員企業の職場

訪問などの移動例会が行われ、その成果を報告し

ていました。グループ別の場を全体会議の席に移

動し、担当のそれぞれの幹事から各グループの内

容報告をいただき、最後にガバナー補佐の総評の

後、懇親会へと移動しました。

洞爺湖RC4名、伊達RC5名、室蘭RC5名、室

蘭東RC5名、室蘭北RC5名、登別RC7名 計

31名出席

11月21日(金) (仮)第9グループ会員交流会打ち合わせ

(会場:室蘭市民会館)

12月5日(金) 第4回第9グループ会長・幹事会

(ホスト:室蘭北RC、場所:ホテル・サンルー  
ト室蘭)

## 議題

1. 地区会員増強ガイドラインについて

2. 前期各クラブの活動報告

3. 後期各クラブの活動計画

4. (仮)第9グループ会員交流会

2004年2月8日(日) 会場:室蘭蓬峯殿

16:00開始予定

## 交流会の主旨

a)佐藤秀雄ガバナーへの慰労と激励

b)遠藤秀雄ガバナーエレクトへの激励

(アナハイム出発に向け)

c)ロータリー財団及びポリオプラス基金集めの

ためのチャリティを計画

d)会員家族の親睦

(今回は第12グループの白老RCも参加)



## 第10グループ

ガバナー補佐 鹿野文男 (函館亀田RC)

2003～2004年10グループの各クラブは、計画にもとづきスタートから活発な活動をしている。又、2ヶ月に1回は10・11グループの合同会長・幹事会を開催し各報告、情報交換そして親睦を重ねている。

青少年交換留学生事業については、10・11グループの共同事業と考え、各クラブ会員1人当たり年3,000円負担し、本年度も11グループの3クラブが留学生の受入をしている。10・11グループの継続事業とも言える。

### 各クラブの活動

#### 函館RC

- ・当年クラブ創立69周年記念例会に1960年代入会会員への感謝の花束と記念品を贈り、家族も写真スライドで紹介。
- ・上期会員増強に努め5名純増。
- ・8月7日(木)納涼家族会開催、会員家族併せて140名の多数が参加。
- ・社会奉仕事業で老人ホーム入居者を競馬場に招待、競馬を楽しんでもらった。
- ・地域交通安全活動推進委員会へ交通安全推進運動の活動へとジャンパー20着を寄贈。
- ・10月13日(祝・月)近郊の高校生とともに大森浜清掃活動。
- ・本年度も環境保全の為、野鳥の森の巣箱清掃作業実施。
- ・新世代委員会活動として、親と一緒に生活できない子供達と会員、学校関係者とボウリング大会、食事会開催。
- ・米山、ロータリー財団事業として、フリーマーケットに参加、売上を寄付に充当。

#### 函館亀田RC

- ・出席率向上の為、年4回100%達成日を設定し、出席率向上に努力中。
- ・例会時の卓話の内50%は当クラブ会員の卓話とし、会員のクラブ出席を促す為実行中。
- ・親睦活動委員会として、納涼家族会を大沼湖畔で

家族と共に家族委員会も協賛開催。

- ・11月友好クラブの新潟新発田城南RCと友好合同例会開催に参加、韓国のクラブも参加し親交深めた。

#### 七飯RC

- ・9月16日(火)七飯RC、森RC、長万部RC3クラブ合同観月例会開催、10・11グループの他のクラブからも多数参加した。
- ・国際事業として、中古自転車の集荷を七飯RC、森RC、長万部RC3クラブで実施した。
- ・11月8日(土)町内小学生と家族を対象とし、栄養に関する知識を学び料理に関心をもって、健康への理解を深めようと「おいしく食べて元気な家族」の講習会を開催した。

#### 森RC

- ・七飯RC、森RC、長万部RC3クラブ合同例会開催にさいして、七飯RC、長万部RCへ多数参加親睦深める。
- ・スリランカへ中古自転車を贈る為、森RCがリーダーとなり、七飯RC、長万部RCの協力をえて集荷実施した。
- ・本年度のクラブ創立40周年記念に向け奉仕活動の記念事業を準備中で、各委員会も3月20日(土)の40周年記念に合わせ活動中である。

#### 長万部RC

- ・会員の増強と退会防止にクラブ会員全員で取組中。
- ・ロータリー財団のポリオ撲滅の為、1人100ドル前期達成。本年度中1人50ドル寄付の為活動中。
- ・スリランカへの中古自転車を贈る事業で、会員、町内の有志、町内事業所の協力で36台収集、点検整備後、森RCへ引渡し。
- ・社会奉仕活動として、町の温泉施設へ高齢者温泉入浴時の送迎奉仕を日程により毎月実施している。
- ・10月20日(月)郊外3クラブの合同例会として、長万部温泉合同例会を開催し、他の10・11クラブ内からも多数参加があった。

## 第11グループ

ガバナー補佐 今

均 (函館五稜郭RC)

## 江差RC

今年度ホームページを開催しております。  
 会員増強については前川会長を筆頭に会員一丸となつて頑張っております。特に2世会員の掘り起こしに重点を置いている様です。又、他クラブとの親睦会の参加を積極的に行っております。

## 函館東RC

友好クラブとの交流が大変盛んなクラブです。9月13日(土)には、青森東RC、11月11日(火)は長崎東RCとの合同例会を開催しております。

プログラム委員会の例会コンセプトとして、7月、8月は金融経済月間と名をうって、各財界人による卓話、11月、12月は、食と健康月間として識者による卓話ということで大変充実した例会を行っております。

## 函館北RC

9月21日(日)に創立40周年記念式典が挙行されました。友好クラブの台北東北RC・千葉港RC・和歌山城南RCの方々をはじめ第10・11グループを中心にたくさんのロータリアンが集話しました。その場で函館市へ交通指導車と、インドネシアRI 3400地区ジョグジャカルタ市タマンサリRCと提携し、公立テガル・レジョ第三小学校に図書1,500冊他コンピューター・ビデオ一式他、什器備品を寄贈しております。

北村祐治会長ならびに中野亮実行委員長の優れた指導及び運営力が発揮された素晴らしい式典でした。

なお、7月2日(水)にホームページが開設されております。

## 函館五稜郭RC

会員増強に大変力を入れ7月1日に64名でスタートしたにもかかわらず現在純増6名で70名のクラブへと発展しております。

毎年7月から8月にかけて、五稜郭公園で行われる函館野外劇に延べ約100名以上の会員が参加し、地域の活動に協力しております。

10月には姉妹クラブであるハワイ・ラハイナRCを公式訪問し、マッチングファンドとして500ドル寄贈しました。又同好会の一つである合唱団DAMの協力により11月23日(日)チャリティコンサートを開催し、益金約1,000ドルをロータリー財団に寄付しております。

## 上磯RC

毎年新世代委員会を中心となり薬物乱用防止運動を行っております。今回の活動は例年上磯地区で行っている街頭募金を、地元で行いたいという木古内高校からの要望に応じて上磯地区と木古内地区に分かれて実施しました。

後日学生達の反応を先生からお聞きしたところ、「恥ずかしかったけどやって良かった」「初めは恥ずかしかったけど、みんなで声を出しているうちに気持ちよくなった」「一人じゃ嫌だけどみんな一緒ならまたやりたい」等々彼らにとって初めての街頭募金活動はかなり有意義だったようです。また、交換留学生のリンダは積極的に話しかけてくれたので学生達も短時間でしたが国際交流が出来た事を喜んでいました。

上磯地区：11月15日(土) 参加者：130名

募金額 73,262円

木古内地区：10月23日(木)、24日(金) 参加者：59名

募金額 30,343円

## 松前RC

7月にホームページが開設されております。

例会が毎週金曜日の19:00~20:00という夜間に行われます。

会員は9名ですが少数精鋭です。

## 第12グループ

ガバナー補佐 山本雅昭 (苫小牧北RC)

7月1日(火)

苫小牧北RC：表敬訪問 12：30～13：30

7月8日(火)

白老RC表敬訪問 12：30～13：30

苫小牧北RCクラブ協議会 18：00～20：00

7月9日(水)

白老RCクラブ協議会 18：00～20：00

7月10日(木)

苫小牧東RCクラブ協議会 18：00～19：00

苫小牧東RC表敬訪問 19：00～20：00

7月11日(金)

苫小牧RCクラブ協議会 11：00～12：00

苫小牧RC表敬訪問 11：00～12：00

ガバナー補佐卓話 (30分間)

7月15日(火)

ガバナー公式訪問会長・幹事会

白老RC 8：50～9：40

苫小牧RC 9：40～10：30

苫小牧東RC 10：30～11：20

苫小牧北RC 11：20～12：10

ガバナー公式訪問12グループ4クラブ合同例会

場所：グランドホテルニュー王子  
12：30～13：30

7月24日(木)

地区社会奉仕委員会意見交換会打合わせ会議

苫小牧北RC事務所

8月9日(土)

地区社会奉仕委員会3委員会合同意見交換会・懇親会

こども奉仕・家庭奉仕委員会主体説明

(8・12グループ合同)

(場所：グランドホテルニュー王子)

8月18日(月)

12グループ会長・幹事会 18：00～20：00

白老RC提案の4クラブ合同例会について

8月20日(水)

4クラブ会長・幹事による焼き肉懇親会

9月28日(日) 地区ライラセミナーシニアクラス参加

佐藤ガバナーの代理挨拶・懇親会参加

10月1日(水)

12グループ4クラブ合同コンペ

場所：樽前カントリークラブ

10月24日(金)

地区大会会長・幹事会、フォーラム、RI会長代

理歓迎晩餐会参加

10月25日(土) 地区大会本会議、記念懇親会参加

11月28日(金) 次年度ガバナー補佐決定

苫小牧RC：藤澤正昭会員

12月11日(木) 12グループ会長・幹事会予定

12月16日(火)～18日(木) 4クラブ訪問予定

## 国際ロータリー理事会の 決定事項の抄録

国際ロータリー理事会の2003-04年度の第2回定例理事会は、2003年9月29日(月)から10月3日(金)、米国イリノイ州エバンストンの世界本部において開かれました。今回の会合で、理事会は13の委員会報告を検討し、117項目の決議を記録いたしました。

### 管理運営に関する事項

理事会は、国際ロータリー役員およびその他のロータリー上層指導者によるロータリー標章の使用を統括する既定方針の適用を拡大いたしました。次期、現任および元国際ロータリー役員および各種の職務遂行のために会長により任命されたロータリアン本人あるいは理事会理事は、国際ロータリー指導者としてそれぞれの役割に付随した印刷出版物あるいは電子出版物においてロータリー標章を使用することができます。しかしながら、それらの役員は、商標と一緒に、あるいは他の組織団体の用箋上に、もしくはいかなる商業目的のためにもロータリー標章を使用することはできません。ロータリーの指導的役割に関連して創設したウェブサイトにもロータリー標章を使用する際に、かかる個人は、そのウェブサイトが国際ロータリーの管理下でないことを明示することを保証しなければなりません。

### 会員および拡大に関する事項

会員増強および退会防止を支援するため、理事会は下記の事項を奨励しています。

- ・地区ガバナーは、新世代の会員にとり興味を引くクラブを結成し、また新世代小委員会を任命すること。
- ・ガバナー・エレクトは、会長エレクト研修セミナー(PETS)を計画する際にこれまで以上に会員増強に大きな重点を置いた討議を強調すること。
- ・地区ロータリー財団学友委員長は、学友を入会見込み者として目視すること。
- ・クラブおよび地区は、ロータリー家族委員会を設

置し、適切な会員の退会防止プログラムを実施すること。

- ・クラブは、8月(会員増強月間)中に、会員増強および退会防止問題についての討議に例会1回を充てること。

ロータリー・クラブにおいて正会員として入会する退職者は、職業分類に以前の職務名を使用するものとするが、これはクラブの単一職業分類における会員の限定数に加算されるものではありません。クラブの職業分類名簿には、退職者のロータリアンを含めることはないものとします。

### プログラムおよびコミュニケーションに関する事項

ロータリー・ワールドは今後、年5回に変わり、4回発行されることとなります。今後は毎年、1月、4月、7月および10月に発行されることとなります。今後、ロータリアンの寄付を要請し独自の人的および教育的プログラムを支援、推進する組織団体の広告をザ・ロータリアン誌に掲載することは一切なくなります。

他の組織団体との実施可能な協同関係から得られる利点を評価する際に、国際ロータリーは、当該組織団体が年次監査済みの口座報告書を提供することで、財務の健全性を実証するよう義務付けることとなります。

理事会は、ロータリー創立百周年記念斉唱歌を作詞作曲する発案を推奨いたしました。ついては、この目的に適った楽譜の原作を2003年12月12日(金)までにロータリアン音楽家国際親睦活動グループまで提出することが奨励されております。同親睦活動グループは、百周年記念斉唱歌に関する推薦書を2004年2月の理事会に提出することとなります。

理事会は、下記の新しいロータリー親睦活動を承認いたしました。

- ・ロータリアン地雷撤去作業親睦活動
- ・ポリオ活動後の生存者および協力関係者親睦活動

- ・エイズと闘うロータリアン親睦活動
- ・人口と開発のためのロータリアン親睦活動
- ・刺し子縫込み掛け布（キルト）製作者および繊維工芸家ロータリアン親睦活動
- ・ロータリー世界全体史親睦活動（インターネットによるプロジェクト）

ロータリー親睦活動は、現在、国際ロータリーを賠償責任から守り、各グループの活動から生じる如何なる責任も負わせず、また適切な損害保険を購入することが義務付けられています。現在活動している親睦活動は、2004年6月30日までに新規の損害賠償保険の加入義務規定に従わなければなりません。理事会は又、依って、親睦活動グループの委員長あるいは管理運営責任者が正会員のロータリアンであることを義務付けています。

理事会は、地区ガバナーに対し、ロータリーの綱領を推進すると云う見地に立ち、地区レベルの親睦活動行事を組織し実施するよう奨励しています。

## 国際会合に関する事項

その2003年5月会合において、予算の緊縮により、理事会は、青少年交換役員、ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）およびローターアクトのための2004年国際大会前会議に資金を充当しないことを決定しました。2004年（大阪）国際大会に先立ち公式の青少年交換役員会議を調整し実施することを地元のロータリアンが熱望していることに留意し、理事会は、地元委員会が国際ロータリーに費用の負担をかけることなく、またその関与なしに、そうした行事を組織し実施して差し支えないことに同意いたしました。理事会はまた、大阪国際大会に付随して公式のRYLAおよびローターアクト研究集会（ワークショップ）を開催することにも同意いたしました。

理事会は、2005年6月18日(土)から22日(水)にわたり2005年（シカゴ）国際大会を開催するための2005年シカゴ・ホスト組織（第6420地区、6440地区、6450地区、6460地区および6540地区）から提出された大会開催同意書を受諾いたしました。

理事会は、2009年国際ロータリー年次大会の開催地として韓国ソウル市を、また2009年から2011年までの国際協議会の開催地として米国カリフォルニア州サンディエゴ市を暫定的に選定いたしました。

## 財務に関する事項

かなりの数のクラブが、いつも同じように、適切な時期における国際ロータリーの人頭分担金の支払いを怠っていることを考察し、理事会は、国際ロータリーに納入義務金をもつクラブに対する督促周期を修正いたしました。

- ・納入義務金をもつクラブは、最早や、加盟資格終結処分に先立つ「業務一時停止」処分を受けることはなくなります。
- ・理事会は、納入義務金をもつクラブを270日後ではなく、今後180日後をもって終結することになります。
- ・復帰を希望する終結クラブは、会員一人あたり米貨10ドルの加盟復帰納入費を支払うことが義務付けられます。
- ・270日以後において国際ロータリーに対する滞納金をもつ、復帰を希望するクラブは、新規承認クラブと同様、加盟認証費を支払うことが義務付けられます。

新規の督促周期は、2004年7月1日付けの国際ロータリー人頭分担金をもって、有効となります。

地区ガバナーは、今後、就任に先立つ5ヶ月間を通じ、任務の遂行義務に付随した費用を賄うために予測配分額の一部を使用することができます。

最近の不安定要素の助長された金融市場の情勢を考慮し、理事会は、事務総長が、月別制に基づき通貨の為替レートの調整を許可することに同意いたしました。前月のドル立て米貨に関連し通貨価値が3パーセントあるいはそれ以上変動した場合、事務総長は、適宜、為替レートを調整することができます。

理事会は、2003-04会計年度の国際ロータリーの帳簿を監査する会社としてDeloitte & Touche社を指定いたしました。

## 年頭のご挨拶

国際ロータリー2004年国際大会(関西)実行委員会

委員長 近藤雅臣

祝2004年、ついに関西で初めての国際大会が開催される年がやってきました。

皆様、明けましておめでとうございます。

2002年4月に実行委員会が発足して以来、ロータリアンの皆様には並々ならぬご協力を賜り、お蔭様で何とか最後の登り道にまでたどり着くことができました。まだまだ険しい道のりが残っていますが皆様のお力を借りながら最後の力を振り絞ってご期待に沿うよう努力するつもりです。何卒宜しく願い申し上げます。RYLA、RAC、YEOについては、昨年5月の理事会で今年度は公式行事を中止するということが決定されましたが、10月の理事会でマジアベRI会長、菅生RI理事、田中RI理事のご助力で公式行事として復活させることに決定されました。また、その後、大阪ドームの借用期限を1日短縮することもできるなどお蔭様で明るい材料も増えつつあります。しかし、開会式、閉会式のプログラム、エンターテイメントについてはあくまでRI主導で、関連業者もRI推薦業者に決定し、一度は日本側の要望は全く叶えられませんでした。ただ、この結果

に対し、千委員長から異議を申し込んで頂いたおかげで、内容についてこちらの意見をできるだけ尊重するということまで話し合いができました。海外からの参加者はもとより大多数を占める日本人の参加者に何とか満足頂けるような大会に仕上げたいと念願しています。大会登録者数については、この原稿を書いている時点ではまだ期待するほどではなく心細い想いです。海外の姉妹クラブなどに大いに呼掛けて頂ければ幸いです。また、とくに近隣の韓国、台湾の皆様への呼掛けをお願い致します。皆様と力を合わせて心にのこる素晴らしい国際大会に仕上げ、世界のロータリアンと手を取りあい「Lend A Hand」の心を世界に発信する場にできればと願っています。大会の主役はロータリアンの皆様です。私たちはあくまで裏方に徹し、ひたすら大会の成功を祈って最後の上り坂を全力を上げて駆け上ります。力強い皆様の後押しをお願い申し上げます。関西で、世界の、そして、日本中のロータリアンと感動を伝え合いましょう。

## RI会長ノミネー・理事ノミネーの発表

2003年12月2日、ジョナサン・マジアベ国際ロータリー会長は、スウェーデン・イエーテボリロータリークラブ会員であるカール・ヴィルヘルム・ステンハマー氏を、唯一の2005—06年度RI会長ノミネーとして公表しました。

また、マジアベ会長は、RI細則に従って、各ゾーンで対立候補が出なかった次の5人を、2005-07年度RI理事ノミネーとして発表しました。重田政信氏(第2840地区 高崎北ロータリークラブ)、ホルスト・ハイナー・ヘルゲ氏(ドイツ)、ジェリーL.ホール氏(米国)、フランクH.ゴールドバーグ氏(米国)、ロバートA.スチュアートJr.氏(米国)なお、RI会長ノミネーおよびRI理事ノミネーは、2004年大阪(関西)国際大会で正式に指名されます。

(「友」インターネット速報 2003年12月16日No.117より)

## 青少年交換委員会報告

白一色の銀世界となり、子供達も楽しみにしている国際スキーマラソンもいよいよ間近です。さて、青少年交換委員会では、10月21日(火)、22日(水)には、ガトーキングダムで、秋季レクリエーションを、又、23(木)、24日(金)の地区大会では、新世代向けのエクスカッションを開催しましたので、お知らせいたします。

ガトーキングダム(旧名:テルメ)で、プール、温泉、中華料理を楽しみ、委員の提供による豪華?抽選会も開かれ、留学生のみならず、ROTEX、次期派遣学生、父兄の皆様もゲームに加わり、歓声も上がり、大いに盛り上がり親睦を深めました。同時に開かれた次年度の長期派遣オリエンテーションでは、活発な意見交換が見られ、司会の赤裏委員の巧みなリードと野沢委員長のユーモアに、又、ROTEXの高崎康子さんの貴重な体験談に皆、真剣に耳を傾けていました。

地区大会のエクスカッションは、上出委員の企画により「千歳サーモンパーク見学と散策」で、「Oh! Natural river.」と、自然の川の中に泳ぐ鮭に感激し、写真を撮ったり、撮られたり、秋晴れの日差しの中、皆、のびのびとした笑顔を見せてくれました。又、佐藤ガバナーのお計らいにより、地区大会会場に新世代用の部屋を用意していただき、大好きなおしゃべりに花を咲かせたり、打ち合わせをしたり、米山奨学生や、ROTEXの皆さんとの親交も大いに深める事ができました。5100地区青少年交換担当の伊藤克己氏も同行して下さり、同地区のKai, Greenさんとも久しぶりに顔を合わせる事が出来、お二人とも大変リラックスし満足のようでした。

地区大会の懇親パーティーでは、大変豪華なお料



秋季レクリエーション ガトーキングダムにて記念撮影 ROTEXや次期の派遣生や保護者の方も一緒にゲームの景品ゲットに燃えました

理に舌鼓を打ち、マグロの解体に目を見張り、ここでも、伊藤氏はアメリカでは、「こんなお刺身は食べることができない。」と、お刺身好きの留学生と一緒に大喜びでした。宴も盛り上がり、ついに出ました、Evan, Tomas! ♪マイ・ウェイをアカペラで熱唱しました。このあたりの積極性は日本の子供達にも大いに真似して欲しいところです。自国の国家を誇らしげに堂々と舞台上で披露する子ども達、アメリカ、オーストラリア、そして、メキシコ、戸部アナマリア地区ガバナー補佐の出身国です。もちろん、戸部ガバナー補佐、Rinda・Gomes、メキシコから帰国したROTEXの大窪健吾君の3人で歌い、最後は、「Viva! Mexico」で決め、会場より割れんばかりの拍手喝采を浴びていました。最後に、千歳RC会員の方達からは喜びをお借りして佐藤ガバナー、遠藤パストガバナー等と一緒に、はちきれんばかりの笑顔で記念撮影をしました。佐藤ガバナーを始め、千歳RCの皆様方、お心配りありがとうございました。感謝の気持ちとともに御礼申し上げます。

(地区青少年交換委員:荒木麻美子)



地区大会にて、佐藤ガバナー、川尻RI会長代理、遠藤パストガバナー、夫人と、留学生、はっぴをかりて



サーモンパークで、記念撮影(鮭の科学館)



地区大会エクスカーション5100地区の伊藤氏、Kaiに会えて、にっこり！



鮭の科学館で、真剣にクイズを解くエバンとジェシカ、応援する留学生正解はどっち？



地区大会で、アメリカ国歌を歌う、ステイブンとケイとエバン



オーストラリア国歌を歌う、カリタとシャーニーの美しい声が聞こえてきそう。



写真や、日本のことをホームページに載せている函館東がホストクラブのステイブン（ニックネームはブンちゃん）と、女性ロータリアン（余市RC）



エバンとソロ、マイ・ウェイを、全員で応援



佐藤ガバナーと5100地区の伊藤克己氏の友情あふれるシーン



ビール娘に伊藤氏もびっくり、アメリカで見せるためにハイ、チーズ



## ロータリー市民フォーラム

## 児童虐待—タイからの報告と日本の対応

地区社会奉仕委員会委員長 対木正文 (札幌西RC)

地区世界社会奉仕委員会委員長 土倉裕之 (札幌東RC)

ロータリー市民フォーラム「児童虐待—タイからの報告と日本の対応」が、11月29日(土)午後2時から5時まで札幌道新ホールで開催されました。札幌市内・近郊から約350名のロータリアンと市民が参加しました。

最初にパベナ財団理事長のパベナ氏がビデオを使い、タイの児童と女性への虐待の現状と発生理由を報告し、命のフリーダイヤル1134番や、受入と更生のための施設など財団の活動を説明しました。その後、札幌児童相談所虐待対応担当の谷口氏が日本の児童虐待の現状と事例を出し、虐待の加害者の90%以上が実父母であること、虐待としつけの線引きの難しさ、児童相談所活動の限界などを話しました。札幌太田病院長の太田氏(札幌西RC)は虐待を受けた子どもの治療例を数多くあげ社会復帰の様子と、虐待を受けた子どもだけでなく回りにいる関係者への治療の必要性を訴えました。札幌学院大学教授の松本氏はまとめと北海道子どもの虐待防止協会の活動を説明しました。コーディネーターは地区社会奉仕委員会副委員長の菅原氏(滝川RC)が担当しました。

パベナ氏と今回タイから同行された3350地区ガバナー補佐のスビット氏はフォーラムの前後、上田文雄札幌市長、山田勝磨小樽市長、井上博司函館市長を小樽RCと函館RCの案内で表敬訪問し、ロータリー活動を説明し、タイと北海道の交流についても意見交換しました。

パベナ氏自身も3350地区のロータリアンで、スビット氏共々当地区のロータリーメンバーの友情に感謝の念を持ち、今後の地区同士の交流を希望していました。

ちなみに3350地区は小林年度のピチャイ・ラタクルRI会長、遠藤年度地区大会でのノラセスRI会長代理を輩出しています。また、次々年度から始まる

GSEプログラムの相手地区でもあります。

今回のフォーラム開催に関してご協力いただいたロータリークラブ、ロータリアンの方々に心から感謝申し上げます。

## 特別講演者パベナ・ホンサクン氏

タイで子どもや女性に対する虐待問題に取り組み、駆け込み寺を設立して自立へのお手伝いを自ら行っているパベナ財団の理事長。財団が設置している命のフリーダイヤル1134番はタイの国民に広く知られ信頼されている。悲惨な通報の場合、パベナさん自身が直接現場に飛び警察などと連絡を取り子どもや女性を救済している行動派。現在5期目の国会議員。労働社会福祉省副大臣、観光省大臣などを歴任。3350地区ドンムアン・バンコク空港ロータリークラブ初代会長。



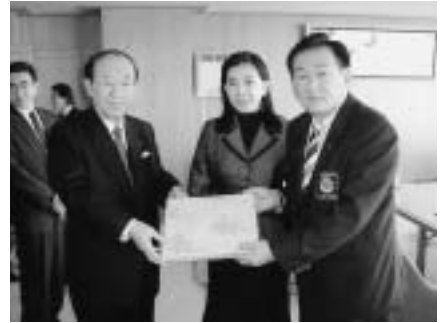
フォーラムでタイの現状を報告するパベナ氏



パネルディスカッションの講師



上田文雄札幌市長とパベナ氏



井上博司函館市長、パベナ氏、3350地区ガバナー補佐のスピット氏



山田勝磨小樽市長とパベナ氏

道新記事 (11月30日朝刊)

**子供たち救いたい**  
講演で訴え

タイの虐待について講演するパベナ氏

虐待、タイでも深刻 国会議員パベナさん

国会議員パベナさんは、タイの虐待問題について講演した。タイの虐待問題は、タイでも深刻な問題となっている。パベナさんは、国会議員として、タイの虐待問題について、国会で発言し、タイ政府に改善を求めた。パベナさんは、タイの虐待問題について、講演で訴え、子供たちを救いたいという思いを述べた。

タイの虐待問題について、国会議員パベナさんが講演した。タイの虐待問題は、タイでも深刻な問題となっている。パベナさんは、国会議員として、タイの虐待問題について、国会で発言し、タイ政府に改善を求めた。パベナさんは、タイの虐待問題について、講演で訴え、子供たちを救いたいという思いを述べた。

**売買春や殺人 社会問題化**  
**タイの虐待見助けた**

29 現地団体を支援 国際ロータリー第2510地区  
日「現状知って」札幌でフォーラム

虐待を受けた子どもや女性を支援するパベナ理事長(後)の立っている人

道新記事 (11月11日 朝刊)

井上市長と握手するパベナさん(右)



タイで虐待問題に取り組む議員  
**パベナさん市長を表敬**

タイで子供や女性に對一同国の女性国会議員、パベナさんが、函館市長に表敬訪問し、市長と握手した。パベナさんは、タイの虐待問題について、講演で訴え、子供たちを救いたいという思いを述べた。

道新記事 (12月3日朝刊函館版)

が一日、函館市役所を訪れ、井上博司市長にあいさつした。

パベナさんは、児童虐待に関するフォーラムで講演するため札幌を訪れた後、自身がタイで設けている財団のPRなどで、函館ロータリークラブ(国立金助会長)の案内で函館を訪れた。

井上市長を訪問したパベナさんは、函館について「街がとてもきれいで、函館山の夜景も美しい」と話していた。井上市長は、ウィメンズネット函館の女性保護活動などを紹介した。

## スリランカに中古自転車を贈る

今年度、佐藤ガバナーにスリランカ第3220地区ガバナー、ガミニージャワデナ氏より遠隔地において村民や児童生徒の足かせになっている交通手段に対応するため、中古自転車の強い要請があり、さっそく国際奉仕活動の一環として地区内12グループの各ガバナー補佐、並びにクラブ会長を通じて、7月より中古自転車の収集を始めましたが函館、留萌方面、札幌、苫小牧、静内方面約20各クラブから協力を得て870台の自転車、中には学童用オルガン32台なども集まりました。保管した場所は千歳の駒里エックファーム倉庫とし、数クラブからはわざわざ届けて戴いたりもし大変感謝致しております。

輸送は苫小牧港から東南アジア航路のコンテナ船で運ぶため、10月8日(水)と11月11日(火)に千歳セントラルRCメンバーと千歳RCメンバーで40フィートのコンテナ積み込みに汗を流しました。

船はシンガポール経由でスリランカに向かい、現

地に到着するのは、ほぼ1ヶ月位かかるとのことです。

尚輸送費については地区国際奉仕委員会(WCS)で負担致しました。



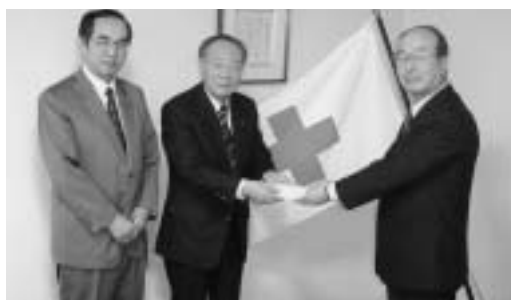
積み込み作業の様子

## 十勝沖地震義援金報告

2003年9月26日(金)に発生した釧路沖を震源とする十勝沖地震被災地救済に対する義援金(総計2,075,260円)を11月14日(金)に、佐藤秀雄ガバナー、対木正文地区社会奉仕委員長が日本赤十字社北海道

支部にお届け致しましたのでご報告致します。

地区内各クラブ会員皆様の温かいご協力に感謝申し上げます。



### ご協力戴きましたクラブ

羽	幌RC	妹	背	牛RC	小	平RC	留	萌RC	赤	平RC	芦	別RC				
砂	川RC	滝		川RC	美	唄RC	江	別RC	岩	見	沢	東RC	栗	沢RC		
栗	山RC	当		別RC	札	幌RC	札幌あけぼのRC		札幌はまなすRC		札幌	北RC				
札幌モーニングRC		札幌	西RC	札幌西	北RC	札幌手稲RC		札幌東RC	札幌清田RC							
札幌幌南RC		札幌真駒内RC		札幌南RC		札幌大通公園RC		新札幌RC	岩		千歳セントラルRC					
小樽RC		小樽南RC		小樽	函RC	蘭	越RC	余	市RC		千歳セントラルRC					
小恵様	庭RC	北	広	島RC	長	沼RC		由	仁RC	え	り	もRC	三	石RC		
	似RC	静		内RC	伊	達RC		室	蘭RC	室	蘭	東RC	室	蘭	北RC	
登	別RC	函		館RC	函	館	亀	田RC	森	RC	長	万	部RC	江	差RC	
函館五稜郭RC		函館		東RC	函	館	北RC		上	磯RC	白		老RC	苫	小	牧RC
苫小牧東RC		苫小牧		北RC	千	歳RC										

ありがとうございました

## タイ国ドンモアンロータリークラブを訪問して ご 報 告

地区家庭奉仕委員長 和田 壬 三 (札幌南RC)

このたび11月初旬に私ども北海道パベナ基金のメンバー全員で、タイ国ドンモアンRCの例会において報告し、パベナさんが幹事長をされている政党の本部で本年度に集めた合計70万円の寄付金を直接パベナさんに寄贈してまいりました。

パベナさんは、南部から帰ったばかりのお忙しい合間を縫ってお会いして下さったのです。しかも、たまたま車両が、エンスト状態で待っている間に目撃したのですが、その直後、政党の事務所に攫われた娘を助け出して欲しいと嘆願に来ていた数人の農民の母親とお会いして、話を聞いた後、直ちにパベナ基金の車両に乗り込み救出に出かけました。この間10分もしない間の出来事でした。彼女のエネルギーな行動を垣間見ることが出来ました。

なおロータリー関係の寄付者は以下の方と団体です。橋本久明、鎌田洋、砺波寿、横井昭廣、永井卯一郎、戸井敏夫、坪池栄一、高橋一雄、鷹木光男、近藤和男、加藤康夫、和田壬三 (以上札幌南RC) 佐藤秀雄ガバナー、小林博直前ガバナー、佐々木敦、中山裕視、上田正佳 (札幌真駒内RC) 矢橋温朗、佐藤裕一 (札幌西)、地区WCS委員会。

私共委員会のメンバーは、佐藤裕一 (札幌西RC) 佐々木敦、中山裕視 (札幌真駒内RC) 鎌田洋 (札幌南RC) と私です。

その機会に概略以下のようなスピーチを行いドンモアンRCの皆さんに私共の訪問の意義についてお話をいたしました。

### 挨拶要旨

昨年に続き皆さんにお会いでき非常に嬉しいです。貴クラブのスビットさんには、私共を皆さんに引き合わせて下さったこと、パベナ基金に寄付を働きかけて下さったこと、パベナさんから直接活動の実態を報告していただき、更に救出した幼い売春婦の少女や、虐待を受けた子を見せて下さったこと、今回の機会を与えて下さったことに何時も感謝しています。

私は、国際ロータリー第2510地区の家庭奉仕委員会の委員長をしています。

家庭における真の民主主義の確立のためには、家

族の複雑な関係、例えば夫婦の関係、親子の関係、兄弟の関係、その相互の関係が、全て民主的であり、対等であり、互いを敬い尊敬する関係にならなければ、本当の意味で家庭の幸福は実現しません。

そのためには、全世界の人々が協力して、家庭の中の民主主義の観念を育てなければならないと思っています。

私の支援は当事業に対する支援は、パベナさんの活動が、同じ方向を目指ししかも、長い目で見たときには、効果的であると信じているからです。

私は日本において毎年1,000人以上の市民を浜辺に集めてごみ拾いをする運動を25年間続けています。

この運動も、浜辺からごみをなくすことを目的にしていますが、いくらごみを拾い集めても浜辺は綺麗にはなりません。

人々が、ごみを捨てないという気持ちになり、海や浜に遊びに来ててもごみを捨てずに持ち帰るという気持ちにさせなければ、綺麗にはなりません。ですから私共は、毎年バスを15台以上チャーターしてたくさんの方の市民に浜辺に集まってもらい、短時間にたくさんのごみを拾い、一人一人の軽率なごみのポイ捨て行為も積み重なるとこんなに浜辺を汚していることを知って、2度とこの様な行為を繰り返さないという心を育てているのです。当初は、僅か1時間で大型トラック14台分のごみが集められたのです。

パベナさんの運動も同じことだと思います。目的は、家庭から暴力をなくし、子供を自分の所有物であるといった思想を駆逐することであろうと思っています。

そのために子供たちや、妻たちからの訴えや悲惨な状態を親や家族あるいは一般の市民に知ってもらい、実は自分たちの中に潜む家庭における非民主的な思想が、この様な事態の原因であることを気づいてもらいたいということだろうと思っています。

今回もたくさんの方の私共の友人に働きかけて、40名を超える方に寄付を戴いたのですが、少なくとも5,000人を超える方に呼びかけて、この様な実態を知ってもらい、家族の問題を考えて頂くきっかけにしているのです。



ですから、このお金の中には、家庭の中の生活費の一部を削って、寄付して下さった方からの寄付も含まれていますし、寄付は今回は見送ったけれども次にはして下さる方の心も含まれていると思います、私共は、寄付して下さった方を代表して、届けに参りました。

家庭の民主主義を実行することは、今すぐにも可能です。先ずご自分から、次は家族に、そして親

友や職場、更には地域に広げて行けばいいのです。

私たちのごみ拾いの運動の成果は、20年目ごろからはっきり現れてまいりました。最近ではごみを探すのが大変です。私たちはごみを宝物とって、ごみのある場所を探しているのです。家庭から暴力や、封建的な思想をなくすことは容易ではありませんが、何時かは、目的が達成できると信じて、始めようではありませんか。

## 家庭奉仕に関連する二つの集会に参加して

11月29日(土)午後2時から5時まで、札幌東RC主催の創立45周年記念事業「育てよう、子どもたちの心」と地区社会奉仕・地区世界社会奉仕委員会主催の「児童虐待—タイからの報告と日本の対応」が同時に開催されましたので、私は前半は、札幌東RCの工藤左千夫氏(児童文学研究センター理事長、小樽南RC会員)の絵本を通じて子育てを語る「ブックスタート」のお話をお聞きし、後半は地区主催の札幌児童相談所谷口晃氏、精神科医師太田耕平氏、子ども虐待防止協会事務局長松本伊智朗氏の3名の実践並びに研究報告をお聞きしました。

いずれの集会も家庭奉仕に関連するものでした。札幌東RCの集会は会場が溢れるほどの幼児を持った父母が参加して、熱心に聴き入っていました。家庭の機能が弱まった結果、子育てさえ自ら学ばなければならぬ若い父母の苦勞が分かる気がしました。

恐らく、参加した全ロータリアンも実感したと思います。講師の工藤先生のお話は素晴らしいものでした。親が全面的に愛情を注がなければならない全ての面で発達途上にある0～2歳児までの段階、「しつけ」を伝えなければならない2～6歳児の段階、より高度な概念や知識を身につけなければならない小学生、中学生とそれぞれの発達段階に応じて、絵本を通じて子どもを育てようという内容であり、先生の研究の成果がいかに質の高いものであるかを知ることができるものでした。

南部春夫先生の「健やかな子育て」は、ゆったり、楽しく、活発にというテーマのお話もお聞きしたかったのですが、もう一つの集会も気になりましたし、先生からは、昨年シンポジウムでお話を少しお聞きできたので、先生が多年にわたって「赤ちゃん110番」などの父母を対象とする相談事業で得た質の高い育児の方法や、父母のあり方に対するお話が聞けたのではないかと想像しながら、会場のグランドホテルを去り、「児童虐待」をテーマとする道新ホールに向かいました。道新ホールについては、丁度パベナさんのタイに於ける活動の報告が終わったところでした。

菅原剛太郎会員(滝川RC)の司会で、前述3名

のパネラーにより、児童虐待の実態やその父母を指導し、指導できない父母から子を守る方法、或いは父母や子を内観療法で救う実践例、更にはその原因の研究などをお聞きしましたが、パベナさんの活動で知るタイの児童虐待の例を含めて、いずれも「家庭民主主義」を実現することが共通のテーマであるとの松本伊智朗先生の「一言」が印象的でした。

短い準備期間でしたが、対木地区社会奉仕委員長が孤軍奮闘して市民の方を多数会場に集めた力には感心しました。

児童虐待の原因についてどう表現するかは別にして、私はその原因は一つに集約されると考えています。それは、父母が幼児(0～2歳頃に十分な愛情を注がなかったこと、2～6歳の時期に子どもの自尊心を傷つけない正しい方法による「しつけ」(親の要望を子に伝えること=児童精神医学の権威者である松本正美先生の言葉)ができていないこと、小中学生の時期に、子どもの自立を促すための正しい親子のコミュニケーションがなされていないこと、問題が発生したときに、不足していたこれらのメニューを補ってやれないことではないか。即ち、全ての子の発達段階に応じた正しい家庭教育がなされていない結果であると考えています。

そして、破綻した家庭教育というのは、夫婦、親子だけの問題ではなく、地域や学校、職場更には医療や社会福祉、場合によっては司法などあらゆる組織や機関に莫大なエネルギーを消費させて育ませなければ、夫婦だけ、親子だけで解決できる問題ではなくなることが、当集会の報告で明らかになったと思います。

家庭奉仕は、まさにその莫大なエネルギーを浪費する前に、家庭崩壊の芽を摘み、家庭に幸福をもたらす大切なものです。

是非とも各クラブの社会奉仕委員長さん、家庭奉仕委員長さん、内容によってはプログラム委員長や親睦委員長さん、情報委員長さん(炉辺会議を通じて)には、今年度も家庭奉仕に関連するプログラム乃至事業に取り組んでいただきたく重ねてお願いする次第です。

## 第1回米山記念奨学委員会報告

地区米山記念奨学委員会

委員長 竹原 巖 (札幌北RC)

日 時：2003年11月15日(土)17:00~17:45

場 所：センチュリーロイヤルホテル「ルミナス」

出席者：佐藤 秀雄 ガバナー (千歳RC)

伊藤 長英 理事 (苫小牧北RC)

見延 庄三郎 学友会 (小樽南RC)

竹原 巖 委員長 (札幌北RC)

戸井 敏夫 委員 (札幌南RC)

黒田 秀雄 委員 (室蘭東RC)

中山 裕視 委員 (札幌真駒内RC)

武田 利兵衛 委員 (札幌南RC)

村上 恒明 委員 (札幌南RC)

内野 司 委員 (砂川RC)

坂田 道昭 委員 (小樽RC)

欠席者：藤澤 正昭 委員 (苫小牧RC)

## 1. 挨拶 佐藤 秀雄 ガバナー

伊藤 長英 米山記念奨学会理事

## 2. 本年度、前半の活動と寄付金状況報告

①次年度奨学生の指定校並びに被推薦者数の打ち合わせ並びに決定。戸井委員が担当し、各大学と打ち合わせ奨学会に報告し決定。

②地区米山学友委員会作成の「学友会だより」を見延委員長よりお送りいただき、奨学生並びに米山委員に送付。

③9月27日、28日開催のライラセミナー(シニアクラス)は、武田委員が担当し奨学生7名(邱麗珍、金良俣、林永波、譚丹丹、尹種秀、陳貞君、楊春)が参加。

④10月24日、25日開催の地区大会は、奨学生15名の登録が有り。

⑤10月の米山月間には、伊藤常務理事・竹原委員長・戸井委員並びに奨学生が10クラブを訪問し卓話を実施。

※次年度はより多くのクラブ訪問を目指し、各委

員手分けしてスピーチを計画したい。

⑥10月末の寄付金実績(地区別寄付金納入明細・クラブ別寄付金納入明細)を参照し、寄付金実態を理解して頂く。

## 3. 奨学生とカウンセラーの懇談会の進め方について

・懇談会の進行役は中山委員に依頼する。

・奨学生の近況報告等のスピーチに、日本語の上手さ・ユーモア度・内容等について審査し景品を出すことをアトラクションとする。

## 4. 今後の活動予定について

## ①寄付金の増進について

・ガバナー並びに委員長連名で、寄付金実績表とお願い文を各クラブ会長・幹事・米山委員長に送付する。

・内野委員の砂川RCの「米山寄付」受付封筒のサンプルを説明して頂く。

・親しい会員に声掛けを、そのグループ内の声掛けを行ってもらう。

## ②次年度奨学生の選考試験について

・試験事前打ち合わせ：2004年1月31日(土)

・選考試験：2004年2月1日(日)

・面接試験担当・人員：後日

・受付・誘導担当：学友会の協力を得る

③新世代委員会(ライラ宮崎委員長担当)が2月8日(日)開催予定の国際スキーマラソンへの参加については、中山委員が担当し準備する。

④米山セミナーは3月13日、14日に室蘭市で開催予定。室蘭東RCがホストとなる。

⑤選考試験の後、新規奨学生が決定し4月中に案内、5月15日(土)に奨学生のオリエンテーションを実施。また、オリエンテーションに先立ち、地区としては初めての試みになるが、カウンセラーの研修会を実施する。

## 第2回 地区補助金の申請について(審査・承認)される

地区補助金委員会

委員長 伏木 忠了 (札幌西RC)

日 時：平成15年11月18日(火)16:00～

場 所：地区ガバナー事務所

プロジェクトの申請件数 4件

①新札幌RC：補助250,000円

札幌道新ホールで、子どもを取り巻く環境悪化から子どもはどう受け止め、どう対処すべきか、市民とともに考えたいと思います。

今回は、タイ国、パベナ財団の理事長であり国会議員であるパベナ・ホンサクン氏を招き、基調講演をお願いする。

(申請額：400,000円、一部WCS委員会負担)

②札幌清田RC：補助100,000円

言語障害児のための「ことばの学級」を市立清田小学校に開級。教材が不足していることから、子どもたちが教室で自由に遊べる「ボールプール」を寄贈し、子ども委員会を通じ、ロータリアンが職

業に関連したさまざまな活動に参加する。

(申請額：100,000円)

③札幌手稲RC：補助150,000円

「青少年の健全な育成」の一助、ロータリー杯争奪、中学校スポーツ大会(西区・手稲区の中学校8会場1,730名位の参加)予選・決勝と2日間開催。

札幌西北RC・札幌あけぼのRCと3クラブ合同、多数のロータリアンも参加する。

④札幌モーニングRC：補助500,000円

バイオブロック植樹の地域運動に向けての統合(札幌市内複数の小学校・中学校)で、北大名誉教授、東先生の率いる(カミネッコン植樹)ボランティア、北の森づくりサークル活動に市民と共に、当クラブからも参加、新しい植樹法の普及に努めたい。(申請額：552,750円)

### 下期地区資金お振込みについて

2003年11月10日より北洋銀行「千歳支店」と「千歳中央支店」の統合に伴いガバナー事務所の取引店名・店番号および口座番号が下記の通り変更となりましたのでお知らせ致します。(口座名義は変更ございません)

1月1日現在の会員数にて下期地区資金を各クラブ様からお振込み戴くことになっておりますが、新しい口座番号の用紙を昨年12月中旬に各クラブ様宛に発送致しておりますので、新しい用紙にご記入の上、ご送金下さいますよう宜しくお願い申し上げます。

旧口座：北洋銀行千歳支店(店番号025) 普通預金0765712  
↓変更後

新口座：北洋銀行千歳中央支店(店番号318) 普通預金3844860

(財)ロータリー米山記念奨学会ニュース

## 【ハイライトよねやま 46】

2003年12月10日発行

## 1. 寄付金速報 ～奨学生数1,000名維持の危機

11月までの寄付金は、前年同期と比べ5.8%減、約4千万円の減少でした。普通寄付金が1.9%減、特別寄付金が7.8%減です。このまま寄付金、とりわけ特別寄付金の減少が進みますと奨学生数1,000名の維持が難しくなります。留学生受入れ10万人計画が達成された今、奨学金の受給を希望する学生は増加しており、米山奨学制度に対する社会からの期待もますます大きくなっています。ひとりでも多くの優秀な留学生を支援するために、皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 2. 常務理事会報告

～新表彰制度の効果検証と

寄付増進策について熱心な協議

11月28日(金)に2003年度第1回常務理事会が開かれ、理事長、副理事長、常務理事および列席者(名誉理事長、監事)を含む11名が出席しました。主な議案として、新表彰制度の現状分析と寄付増進方策案の検討、公益法人改革に向けての情報公開規程などの整備と今後の会議日程について協議しました。また、ロータリーマークの使用については、RI知的所有権を十分研究して使用することなどについて意見交換を行いました。

## 3. ロータリーゾーン研究会に米山奨学事業が再登場

11月29日(土)に東京・高輪プリンスホテルで開催された第32回ロータリーゾーン研究会では、昨年に続いて米山奨学事業がテーマの一つに取り上げられました。これは、板橋直前RI理事、田中現RI理事をはじめ、日本選出RI理事のご尽力によるものであることはいまでもありません。また背景には、教育・福祉・青少年育成に真正面から取り組む日本のロータリーが、「国際奉仕」「新世代育成」「平和の実践」などそれぞれの観点から、米山奨学事業の実績に注目し始めたことがあると言えます。

現況報告の内容は、(1)知的国際競争市場におけ

る“優秀”な留学生支援の意義 (2)RI提唱の「平和貢献」に応える米山の理念「平和の使徒をつくる奨学事業」の再確認 (3)寄付増進の可能性を探る方策などでした。

RIの多地区合同活動の方針に沿った米山奨学事業の使命と役割がますます重要性を増してきたことをあらためて認識した研究会でした。

(事務局長・宮崎幸雄)

## 4. 第1回米山奨学会学友セミナー報告書発行

(懸賞論文入賞者の論文集付き)

10月11日(土)開催の第1回米山奨学会学友セミナーの報告書を12月下旬に発行いたします。セミナーに先駆けて実施した懸賞論文入賞者の論文集も収録しています。当会ホームページからもダウンロードできますので、ぜひご一読ください。(冊子をご希望の方は、事務局までお気軽にお問い合わせください。)

## 5. 留学生数は10万人を突破!

次なる課題は受入れ環境の質的充実に

文部科学省は11月11日の発表で、海外からの留学生数が今年5月1日現在で10万9,508人に達したことを明らかにしました。1983年に政府が掲げた「留学生受入れ10万人」の目標をようやく達成したことになります。前年に比べて13,958人増(14.6%増)で、課程別では、学部・専修学校の増加が目立ちます。また、出身国別の留学生数では、中国がトップで70,814人。前年に比べて12,281人増(21.0%増)と大幅な伸びを示しました。2位に韓国(15,871人)、3位に台湾(4,235人)と続き、アジア諸国からの留学生の割合は全体の93%に上ります。(詳しくは、文部科学省のウェブサイトをご覧ください：<http://www.mext.go.jp>)ポスト10万人計画として新しい留学生政策を検討する中央教育審議会留学生部会では、10月に中間報告をまとめました。より一層の留学生交流を推進する基本方針とともに、留学生の質の確保と受入れ体制の充実などに取り組んでいくこと、その



ためにも企業・地方公共団体・民間団体とも連携して、社会全体として留学生を受け入れる環境を構築すべきだとしています。

《重要なお知らせ》

- ◆米山奨学会への特別寄付金に対して免税の優遇措置が受けられます。1年間（1月～12月）に1万円以上の特別寄付をされた方には、来年1月末までに免税領収書をクラブにお送りいたします。来年の確定申告は12月30日（火）までに入金された

ご寄付が対象となります。

財団法人ロータリー米山記念奨学会

事務局長 宮崎幸雄

編集担当 峯

Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281

問い合わせメール :

[highlight@rotary-yoneyama.or.jp](mailto:highlight@rotary-yoneyama.or.jp)

米山記念奨学会ホームページ :

<http://www.rotary-yoneyama.or.jp>

## 文庫通信(195号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介・絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### 先輩ロータリアンの文献

- ◎「満州におけるロータリー運動の展望 他」 佐々木孝三郎 1974 27p (遺稿集から)
- ◎「満州のロータリーのことも (インタビュー)」 佐々木孝三郎  
ロータリーの友 : 1968・9月 4p
- ◎「戦前の日本ロータリー」 直木太一郎 1974 25p
- ◎「日本ロータリー史」 直木太一郎 1971 37p
- ◎「ロータリアン読本」 直木太一郎 神戸RC 1970 41p
- ◎「ロータリー日本伝来のルーツとその後の経過 その1」 平島健次郎 1982 28p
- ◎「温故知新 ロータリーの今昔」 遠藤健三 1987 7p
- ◎「鼎談 ロータリーは紳士の道場―戦前、戦後のロータリーを回顧して」  
細川清、石川芳次郎、鳥養利三郎 ロータリーの友 : 1967・12月 5p
- ◎「日本におけるロータリーの歴史」 阿部謙夫 1976 11p (D.350年次大会講演)
- ◎「日本ロータリー再建の頃」 ジョージR. ミーンズ  
ロータリーの友 : 1976・9月～1977・4月 27p
- ◎「火種はみんな持っている (抄)」 松本兼二郎 1969 32p

〔上記申込先：ロータリー文庫 (コピー)〕

### ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F

TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

## ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

## マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

函館五稜郭 R C	光 錢 裕 二	会員	11月7日 (4回目)
札幌南 R C	齋 藤 元 護	会員	11月7日 (2回目)
札幌東 R C	大 場 二 郎	会員	11月14日 (2回目)
函館亀田 R C	鹿 野 文 男	会員	11月21日
留 萌 R C	川 合 正 修	会員	11月28日
	澤 田 茂	会員	11月28日 (4回目)
	澤 井 定 七	会員	11月28日
	渡 部 英 次	会員	11月28日 (4回目)
札幌東 R C	村 山 富 夫	会員	11月28日 (2回目)

## ポール・ハリス・フェロー

岩見沢東 R C	津 元 美智代	会員	11月14日
	滝 本 妙 子	会員	11月14日
留 萌 R C	山 本 讓 二	会員	11月28日

## ベネファクター

函館北 R C	小笠原 孝	会員	11月14日
---------	-------	----	--------

## 米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

## 米山功労者

深 川 R C	小 野 昭 郎	会員	11月26日	第2回
	佐々木 実	会員	11月26日	第1回
留 萌 R C	川 上 明 弘	会員	11月27日	第1回
	田 中 公 一	会員	11月27日	第7回
	渡 部 英 次	会員	11月27日	第4回
札幌北 R C	小 林 俊 之	会員	11月11日	第1回
札幌幌南 R C	五十嵐 政 三	会員	11月27日	第1回
	近 藤 浩	会員	11月27日	第3回
	奥 村 建 夫	会員	11月27日	第2回
	土 谷 享	会員	11月27日	第1回
恵 庭 R C	柴 田 弘 道	会員	11月5日	第3回
長 沼 R C	青 木 雄 一	会員	11月12日	第1回
	清 水 彰	会員	11月12日	第2回
函館東 R C	杉 本 武 彦	会員	11月4日	第1回
苫小牧 R C	藤 澤 正 昭	会員	11月7日	第2回

**\* 掲示板 \***

・クラブ事務局変更のご案内

七飯 R C 12月8日(月)よりクラブ事務局を下記の通り変更致しましたので宜しくお願い致します。  
〒041-1111 亀田郡七飯町本町386-2  
(有)かわじり生花店内  
電話 0138-65-2448 FAX0138-65-2996

・例会の変更について

芦別 R C 1月9日(金) 夜間例会(新年交礼会) 18:00~ 場所: 鮭広  
美唄 R C 1月8日(木) 新年夜間例会 18:30~  
岩見沢 R C 1月9日(金) 岩見沢 R C・岩見沢東 R C 新年交歓会 18:00~  
場所: 三井グリーンランドホテルサンプラザ  
岩見沢東 R C 1月6日(火) 休会(定款第5条第1節により)  
1月13日(火) 休会(新年合同交歓会の振替)  
江別西 R C 1月6日(火) 移動夜間例会18:00~ 場所: 遠州寿司  
当別 R C 1月6日(火) 早朝例会(新年交礼会) 8:00~  
1月31日(土) 夜間例会(新年親睦会 in 新篠津) 17:00~  
(1月27日を変更)  
倶知安 R C 1月7日(水) 休会  
1月14日(水) 夜間例会(新年会) 18:00点鐘 場所: 梅寿司  
1月28日(水) 夜間例会 18:00点鐘  
余市 R C 1月7日(水) 休会  
伊達 R C 1月6日(火) 夜間例会(新年交礼会) 18:00~  
場所: ローヤルホテル  
室蘭東 R C 1月28日(水) 創立43周年記念家族同伴夜間例会 18:30~  
場所: 蓬峯殿  
白老 R C 1月6日(火) 休会(定款第5条第1節により)  
1月13日(火) 移動夜間例会(新年家族例会) 18:00~  
場所: ホテルビュラメール(白老町虎杖浜)  
苫小牧 R C 1月16日(金) 夜間例会(新年家族会) 18:00~  
場所: グランドホテルニュー王子

・メールアドレスの変更について

深川 R C の大西祥太幹事のメールアドレスが\*\*\*\*\*に変更になりましたので、地区役員名簿のご訂正をお願い致します。

**祝** 新入会員のご紹介

札幌大通公園 R C



山崎 和 会員  
12月1日入会

江別 R C



武田 泰一 会員  
12月4日入会

札幌北 R C



小林 良善 会員  
12月15日入会

## 11月会員数・出席率

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			03.7.1	03.11.30	増減	内女性	
1	深 川	4	43	43	0	2	78.13
	羽 幌	4	47	47	0	1	71.46
	妹 背 牛	4	10	10	0	0	90.00
	小 平	4	16	16	0	0	64.06
	留 萌	4	64	64	0	0	94.55
	小 計		180	180	0	3	79.64
2	赤 平	4	35	35	0	1	87.20
	芦 別	3	58	57	-1	0	91.83
	砂 川	4	55	56	1	0	96.43
	滝 川	4	109	111	2	2	73.25
	小 計		257	259	2	3	87.18
3	美 唄	4	47	45	-2	0	91.07
	江 別	3	46	47	1	2	85.18
	江 別 西	3	40	40	0	3	90.00
	岩 見 沢	5	100	101	1	0	91.88
	岩 見 沢 東	3	34	36	2	3	89.90
	栗 沢	4	33	33	0	2	89.79
	栗 山	4	32	32	0	2	95.00
	当 別	4	42	41	-1	0	85.37
		小 計		374	375	1	12
4	札 幌	4	113	127	14	0	98.19
	札幌あけぼの	4	18	17	-1	1	100.00
	札幌はまなす	4	30	30	0	5	81.25
	札 幌 北	2	54	56	2	5	90.66
	札幌モーニング	4	60	62	2	0	73.39
	札 幌 西	4	74	79	5	2	90.76
	札 幌 西 北	4	50	50	0	2	91.26
	札 幌 手 稲	4	44	44	0	0	97.73
		小 計		443	465	22	15
5	札 幌 東	3	118	125	7	0	99.42
	札 幌 清 田	4	29	29	0	5	100.00
	札 幌 幌 南	4	81	77	-4	0	100.00
	札 幌 真 駒 内	4	46	47	1	2	95.91
	札 幌 南	2	90	94	4	0	96.47
	札幌大通公園	2	19	20	1	5	80.55
	札幌セントラル	4	19	19	0	5	72.30
	新 札 幌	4	36	37	1	1	91.92
		小 計		438	448	10	18
6	岩 内	4	35	36	1	0	76.67
	倶 知 安	4	57	57	0	4	83.25
	小 樽	4	88	89	1	0	83.45
	小 樽 南	4	86	85	-1	0	86.09
	小 樽 銭 函	4	22	22	0	3	76.14
	蘭 越	4	15	15	0	0	83.33
	余 市	4	46	46	0	4	89.22
		小 計		349	350	1	11

クラブ数	72クラブ
期首会員数	3,304人
当月末会員数 (女性)	3,369人 (96人)
増加会員数	65人
当月平均出席率	83.90%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率	
			03.7.1	03.11.30	増減	内女性		
7	千 歳	4	72	74	2	2	89.86	
	千歳セントラル	4	31	31	0	0	90.30	
	恵 庭	4	50	50	0	0	87.23	
	北 広 島	3	15	18	3	2	84.31	
	長 沼	2	17	19	2	4	80.80	
	由 仁	4	16	16	0	0	70.31	
	小 計		201	208	7	8	83.80	
8	え り も	4	23	25	2	0	70.00	
	三 石	2	18	18	0	1	80.50	
	様 似	4	20	20	0	2	69.40	
	静 内	4	68	68	0	0	78.82	
	浦 河	4	42	42	0	1	92.17	
		小 計		171	173	2	4	78.18
9	伊 達	4	55	57	2	0	72.26	
	室 蘭	4	56	59	3	0	64.10	
	室 蘭 東	4	48	49	1	0	89.73	
	室 蘭 北	4	39	39	0	2	100.00	
	登 別	4	39	40	1	2	85.00	
	洞 爺 湖	4	12	12	0	0	77.20	
		小 計		249	256	7	4	81.38
	10	函 館	4	101	106	5	0	80.57
函 館 亀 田		1	47	48	1	1	75.00	
森		4	48	48	0	0	82.00	
七 飯		4	29	29	0	0	75.00	
長 万 部		2	12	14	2	0	60.71	
	小 計		237	245	8	1	74.66	
11	江 差	4	21	20	-1	0	77.50	
	函 館 五 稜 郭	4	64	70	6	0	86.00	
	函 館 東	3	60	60	0	6	83.33	
	函 館 北	4	43	40	-3	0	81.58	
	上 磯	4	33	34	1	3	58.60	
	松 前	4	9	9	0	1	66.67	
	小 計		230	233	3	10	75.61	
12	白 老	4	32	32	0	2	78.00	
	苫 小 牧	4	61	63	2	0	76.60	
	苫 小 牧 東	4	33	33	0	3	81.45	
	苫 小 牧 北	4	49	49	0	2	92.89	
		小 計		175	177	2	7	82.24
	合 計		3,304	3,369	65	96	83.90	

## 2003-2004年度 下期地区カレンダー（予定表）

年	ロータリー月間強調事項	月	日(曜日)	地区の行事	日(曜日)	国内行事・国際行事	グループ内の行事・クラブ周年行事
2004年（平成16年）	ロータリー理解推進月間 追悼記念週間 (1/27を含む1週間)	1		各クラブ半期報告、人頭分担金送金 05-06国際親善奨学生応募開始 オーストラリア受入学生歓迎会			
	世界理解月間		1(日)	米山奨学生選考試験	2(月) 8(日)		札幌真駒内RC創立30周年記念式典 (仮)第9グループ会員交流会
	ロータリー創立記念日、 世界理解と平和の日(2/23) 世界理解と平和週間 (2/23～2/29)	2	18(水) 14(土)・15(日) 29(日)	地区GSEチーム派遣(～3/24・第3830地区) 04-05国際親善奨学生オリエンテーション 米山奨学生歓送会 地区チーム研修セミナー(室蘭プリンスホテル)	15(日)～22(日) 20(金) 21(土)・22(日) 26(木)	国際協議会(米国・アナハイム) ローターアクト全国研修会	第6グループ内合同研修会 洞爺湖RC創立35周年(予定) 札幌東RC創立45周年記念式典
	世界ローターアクト週間 (3/13を含む1週間)	3	13(土)・14(日)	会長エレクト研修セミナー(登別グランドホテル)	20(土)		森RC創立40周年記念式典
	ロータリー雑誌月間	4	17(土)	地区協議会(室蘭市民会館)		ROTARY-NONO-TOMO発行 青少年交換研究会	
		5	20(木) 29(土)・30(日)	2004年青少年短期派遣学生選考試験 05-06国際親善奨学生応募締切り 米山奨学生オリエンテーション ローターアクト地区年次大会	9(日) 15(土) 16(日) 23(日)～26(水)	国際大会ROTEX全国会議(大阪大会) 国際大会(日本・大阪)	第2グループ合同例会 栗沢RC創立40周年記念式典 第1グループ・ワークシヨップ
	R I 国際大会 ロータリー親睦活動月間	6		新旧ガバナ補佐会議 インターアクト地区年次大会(予定)	5(土) 14(月)～18(金) 19(土)	米山記念奨学会、理事会・評議員会 2004年規定審議会(シカゴ)	岩見沢RC創立50周年記念式典 新札幌RC創立20周年記念式典
		9		佐藤年度地区要覧発行			